できるdynabook

パソコンの画面上で見るマニュアルです。
Windows、インターネット、メールの基本操作についてレッスン形式に紹介。

デスクトップ上の［できるdynabook］アイコン（ ）をダブルクリック。

図解で読むマニュアル

パソコンでオリジナルCD/DVDを作るなど色々な機能を紹介。
パソコンを楽しむならこの一冊！

マニュアル中の（検索）のあとに記載されているキーワードを入力し、［検索］ボタンをクリックします。

例：
《サイバーサポート（検索）：ユーザパスワード》

これを入力！

〈その2〉

CyberSupportの「用語集」をご覧ください。

一般的なパソコン用語について説明しています。
サイバーサポート画面の［用語集］ボタン（用語集）をクリック。

Windowsの基本操作を忘れてしまった！

アシストシート

操作のポイントを確認できるこのシートが活躍！
お問い合わせ先も記載。

パソコンの調子がおかしい！わからない！

困ったときは

困ったときやパソコンにトラブルがあったときにお読みください。
まずは「トラブルを解消するには」で原因を探りましょう！

サポート体制は？

東芝PCサポートのご案内

※ご購入の時期によって、表紙は異なることがあります。

もくじ

3章　ウイルスや不正アクセスを防ぐ　57

4章　パスワードについて　71

5章　パソコンと長くつきあうために　77

付録　93

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠危 険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 サイバーサポート、できるdynabookへの参照の場合 …《　》 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■用語集について

本書では、巻末に「用語集」を用意しています。わからない用語があるときなど、本書を読み進めるために活用してください。

参照 用語集「付録 2 用語集」

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP　Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版を示します。

MS-IME　Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット 2003を示します。

サイバーサポート
CyberSupport for TOSHIBAを示します。

ドライブ　DVDスーパーマルチドライブ／DVDマルチドライブ／DVD-ROM&CD-R/RWドライブを示します。内蔵されているドライブはモデルによって異なります。

参照 詳細について『応用にチャレンジ 1章 5 ドライブ』

DVDスーパーマルチドライブモデル
DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

DVDマルチドライブモデル
DVDマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

DVD-ROM&CD-R/RWドライブモデル
DVD-ROM&CD-R/RWドライブが内蔵されているモデルを示します。

マウス同梱モデル
マウスが同梱されているモデルを示します。

Office搭載モデル
Microsoft® Office Personal Edition 2003およびMicrosoft® Office OneNote® 2003がプレインストールされているモデルを示します。

記載について

・記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
・インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、OneNote、Outlookは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Intel、インテル、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックスは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2 にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
・「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
・LaLaVoice、ConfigFree は株式会社東芝の登録商標です。
・The 翻訳、The 翻訳インターネットは東芝ソリューション株式会社の商標です。
・Adobe、Adobe Reader、Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
・駅すぱあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdate は Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は Symantec Corporation の商標です。
・McAfee、VirusScan およびマカフィーは米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
・InterVideo、WinDVD、WinDVD Creator は InterVideo, Inc. の登録商標または商標です。
・Sonic RecordNow!は Sonic Solutions の登録商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
・infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

・周辺機器を接続して本製品を使用している場合
・AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
　目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
・目安として、気温５～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・Windows のシステムツールまたは『困ったときは』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
・セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
・アプリケーションによっては初回起動時に使用許諾書が表示されます。アプリケーションを使用するには使用許諾書に同意してください。
使用許諾書に同意すると、2 回目以降は使用許諾書の表示はされませんが、再セットアップを行った場合には使用許諾書が表示されます。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』またはインターネット経由で登録できます。

参照 詳細について「5 章 3 お客様登録をする」

『保証書』は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

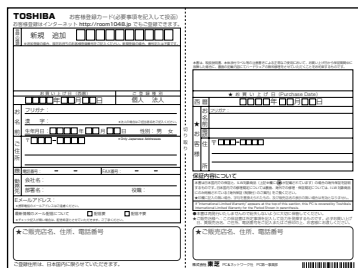
1章

パソコンの準備をする

本章では、本製品の設置場所、Windowsのセットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、本製品をお買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備について説明しています。

1 確認する

はじめに確認してください

本製品を使用する際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』を読んでください。
『同梱物一覧』を参照して同梱物を確認した後、次の点を確認してください。

■型番と製造番号を確認

パソコン本体の裏側に型番と製造番号が記載されています。保証書の番号と同じ番号かを確認してください。番号が違っていたら、購入した販売店に問い合わせてください。

参照 記載位置について ➲「2章 1 各部の名前」

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の保守サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認した後、大切に保管してください。

TOSHIBA　お客様登録カード(必要事項を記入して投函)
お客様登録はインターネット http://room1048.jp でもご登録できます。
登録の種類　新規　追加
お買い上げ日（西暦）　□□□□年□□月□□日
ご登録種別　個人　法人
お名前　フリガナ：　漢字：　生年月日：□□□□年□□月□□日　性別：男　女
ご住所　〒□□□-□□□□　＊Only Japanese Addresses
電話番号：　FAX番号：
勤務先　会社名：　部署名：　役職：
Eメールアドレス：
最新情報のメール配信について　□配信要　□配信不要
★ご販売店名、住所、電話番号
ご登録住所は、日本国内に限らせていただきます。

切り取り

本書は、取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用において、お買い上げ日から保証期間中に故障した場合に、裏面の記載内容にてハードウェアの無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
★お買い上げ日（Purchase Date）
西暦　□□□□年□□月□□日
★お客様　お名前　フリガナ：　電話　住所　〒□□□-□□□□
保証内容について
本書は日本国内での保証と、ILW対象商品（上記※欄にILWが記載されています）の場合の海外保証を証明するものです。日本国内での修理規定については裏面、海外での修理・保証規定については、ILW対象商品にのみ同梱されている「海外保証（制限付）のご案内」をご覧ください。
★印欄に記入の無い場合、字句を書換えられたもの、及び販売店名の表示の無い場合は有効となりません。
If "International Limited Warranty" appears at the top of this section, this PC is covered by Toshiba's International Limited Warranty for the Period Shown in parenthesis.
●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
★ご販売店様へ：この保証書は所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ずお買い上げ日、貴販売店名、ご住所、電話番号をご記入またはご捺印の上、お客様にお渡しください。
★ご販売店名、住所、電話番号
株式会社東芝　PC&ネットワーク社　PC第一事業部

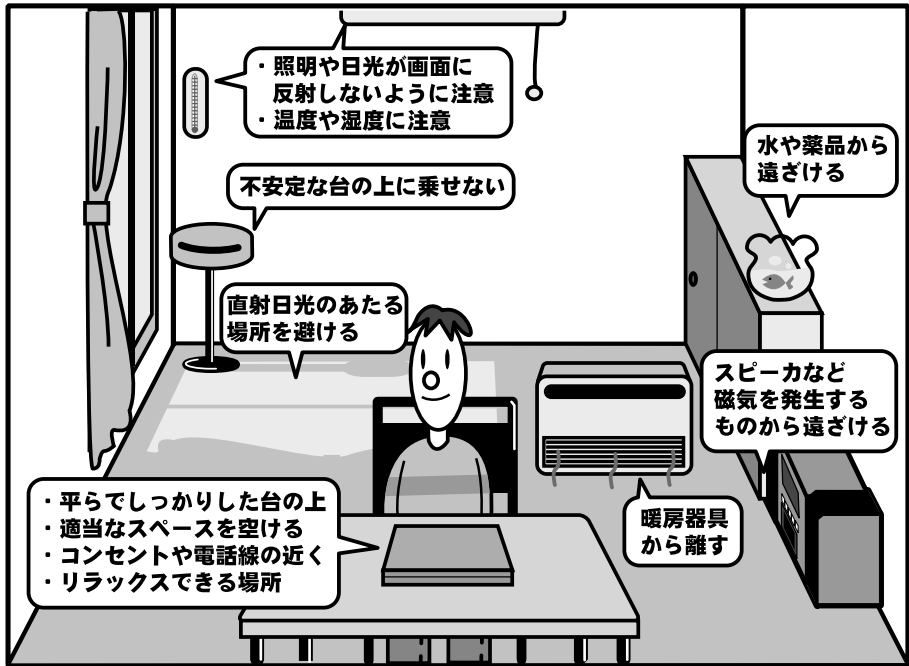
■海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW：International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・確認事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細については『海外保証（制限付）のご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■Product Key（プロダクト キー）は大切に保管

本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製のWindows（ウィンドウズ）が用意されています。
このWindowsにそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。
Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

2　適切な場所に置く

適切な場所に置いてください

●人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境とされています。湿気、直射日光やディスプレイへの反射光も苦手。強い磁気を発するスピーカの近くや、暖房が直接あたる場所もよくありません。
●不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やケガにつながります。パソコンは安定した場所に置いてください。
●磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
●ラジオやテレビ受信機の近くで使用しないでください。ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
●パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
●パソコンの放熱口（通風孔）をふさがないでください。

3 Windows（ウィンドウズ）のセットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行う必要があります。
Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするための操作です。
セットアップには約10分かかります（作業時間は人によって多少異なります）。

作業を始める前に、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

操作の流れ

パソコンの準備をする

電源コードとACアダプタの接続	➲ 13ページ
電源を入れる	➲ 14ページ

Windowsのセットアップをする

使用許諾契約書への同意	➲ 16ページ
コンピュータ名の入力	➲ 17ページ
ユーザ名の入力	➲ 20ページ

セットアップをするときの注意

周辺機器は接続しないでください

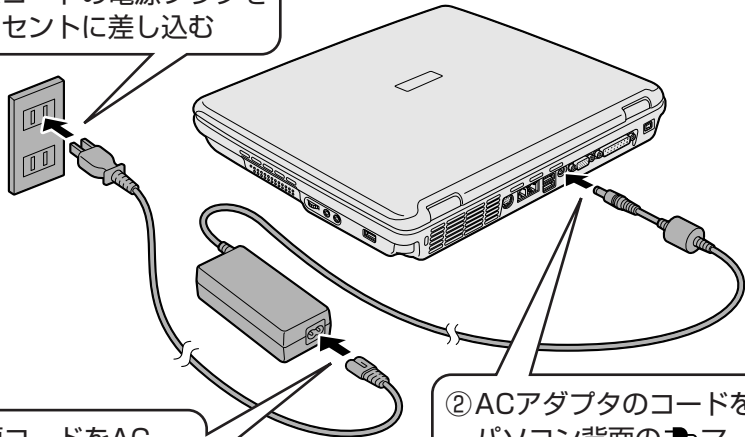
- セットアップはACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行います。
  セットアップが完了するまでプリンタ、マウス、USBフロッピーディスクドライブなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。

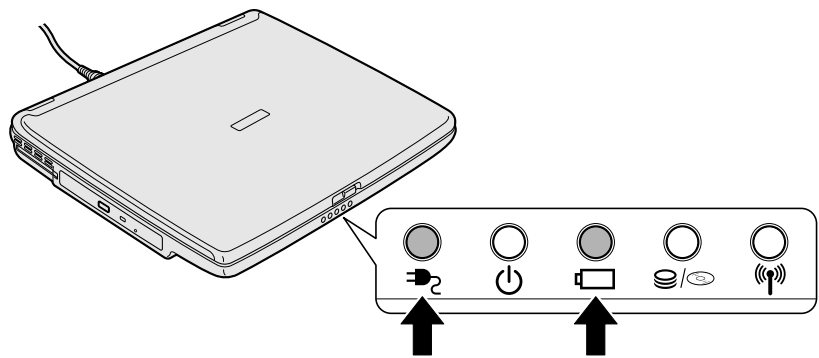
途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

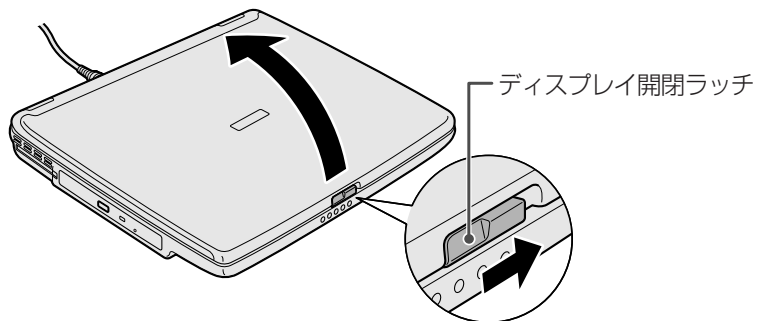
操作は時間をあけないでください

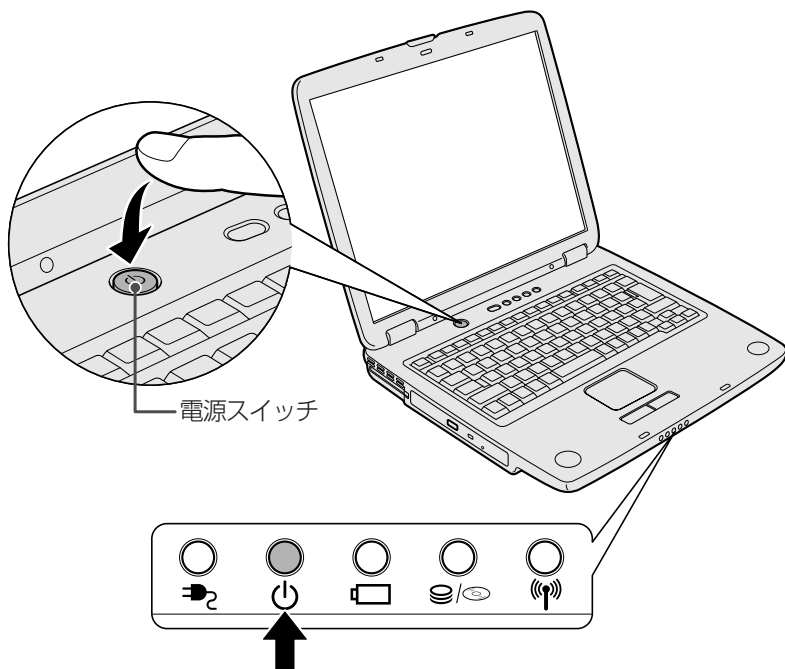
- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  30分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなる場合がありますが、故障ではありません。
  もう1度表示するには、SHIFTキーを押すか、タッチパッドをさわってください。

電源コードとACアダプタを接続する

■接続すると

●DC IN LEDが緑色に点灯します。また、Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリへの充電が自動的に始まります。

電源を入れる

1 パソコンのディスプレイを開ける

●ディスプレイ開閉ラッチをスライドし、ディスプレイをゆっくり起こします。

2 電源スイッチを押す

●Power ⏻ LEDが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押してください。

Microsoft Windowsへようこそ

パソコンが起動したら、[Microsoft Windowsへようこそ] 画面が表示され、音楽が流れます。

1 [次へ] ボタンをクリックする

- Windowsのセットアップ中にわからないことがあれば、ヘルプを確認することができます。ヘルプを表示するには、画面右下の ? ボタンをクリックするか F1 キーを押します。
- 音量はボリュームダイヤルで調節できます。

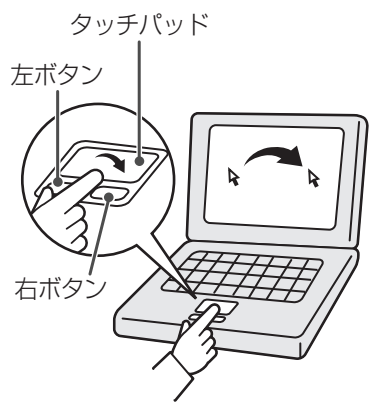
参照 ボリュームダイヤル
➲「2章 1 各部の名前」

- [使用許諾契約] 画面が表示されます。

クリックとは?

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きにあわせてディスプレイ上の「 」(ポインタ) が動きます。

目的の位置にポインタをあわせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

参照 詳しい使いかた
➲「2章 2-❶ タッチパッド」

使用許諾契約書に同意する

1 ［使用許諾契約］の内容を確認し、［同意します］の左にある ◯ をクリックする

- 契約書の続きを表示するには、契約書が表示されている画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。
- ◯ をクリックすると ◉ になります。
- 契約に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsを使用することはできません。

2 ［次へ］ボタンをクリックする

- ［コンピュータを保護してください］画面が表示されます。

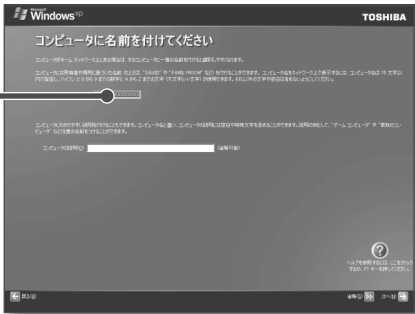
コンピュータを保護する

1 ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の左にある ◯ をクリックする

2 ［次へ］ボタンをクリックする

- ［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

コンピュータの名前を入力する

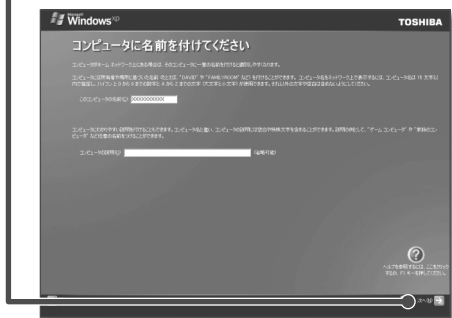
1 コンピュータの名前を入力する

- ネットワークを使用する場合は必ず入力してください。
- 半角英数字で任意の文字列を入力してください。このとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。
- 「|」(カーソル)が表示されている位置から文字の入力ができます。

参照 文字入力について ➲『アシストシート』

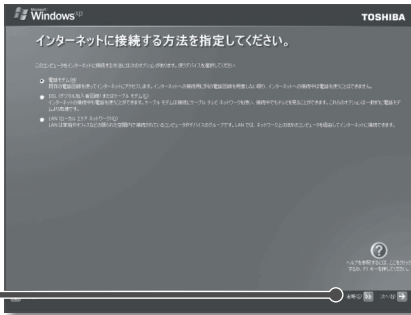
■入力を間違えた文字を削除する

・カーソルの左側の文字を削除する…… BACKSPACE キー
・カーソルの右側の文字を削除する…… DEL キー
カーソルを左右に動かすには、←キーまたは→キーを押します。

コンピュータの名前を入力する

1 ［次へ］ボタンをクリックする

- ［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。
- ［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面ではなく［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示されることもあります。
- 画面が表示される前に、［インターネット接続を確認しています］画面が表示されることがあります。この画面では何も操作する必要はありません。そのまま次の画面が表示されるのをお待ちください。

インターネット接続方法の指定を省略する

1 ［省略］ボタンをクリックする

- セットアップ完了後に行えるのでここでは省略します。

参照 インターネットの接続
➲《できるdynabook》

- ［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示された場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。

- ［Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。

ユーザ登録をキャンセルする

1 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある ◯ をクリックする

- セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略します。

参照 Windows XPのユーザ登録
➲「5章 3 お客様登録をする」

- ◯ をクリックすると ◉ になります。

2 ［次へ］ボタンをクリックする

- ［このコンピュータを使うユーザを指定してください］画面が表示されます。

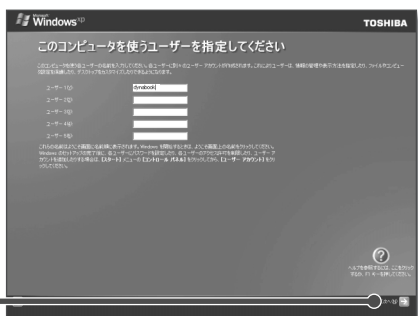
ユーザ名を入力する

1 ［ユーザー1］欄に使う人の名前を入力する

- 文字の入力方法については、『アシストシート』に簡単な説明がありますので、参照してください。また、入力に使うキーの位置については、「2章 3 キーボード」を参照してください。
- Windows XPでは複数のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは1人の名前だけ入力します。

「dynabook」と入力するときは、キーボードで［半／全］キーを押してから、［D］［Y］［N］［A］［B］［O］［O］［K］と押します。
キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」が点滅しながら表示されていることを確認してください。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。

ユーザ名入力を終了する

1 ［次へ］ボタンをクリックする

● ［設定が完了しました］画面が表示されます。

セットアップを完了する

1 ［完了］ボタンをクリックする

●画面に砂時計「⌛」が表示されているときは、パソコンが考えたり作業をしている状態です。⌛が消えてから操作してください。

●Windowsのセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動します。続いてパソコンの環境を整える操作を行います。
●購入後初めてセットアップした場合は、日付と時刻の設定をしてください（28ページ参照）。

パソコンの環境を整える

●パソコンが再起動した後、パソコンを診断しているメッセージが表示されます。
●診断が終了すると、パソコンの環境設定を行うメッセージが表示されます。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

●環境設定が終了すると、［ウィルス駆除ソフトのインストール］画面が表示されます。

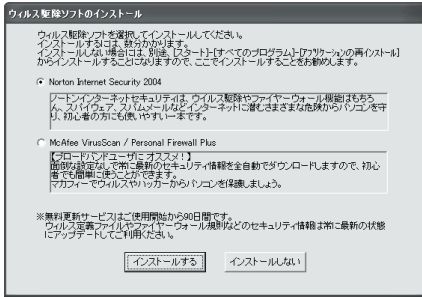
ウイルス駆除ソフト（ウイルスチェックソフト）のインストールは後から行うことができますが、パソコンの安全上、ここでインストールしておくことをお勧めします。

参照 ウイルスチェックソフトについて ➲「3章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ」

2 ［Norton Internet Security 2004］または［McAfee VirusScan / Personal Firewall Plus］の左にある ◌ をクリックする

●ウイルスチェックソフトは、「Norton Internet Security（ノートン・インターネットセキュリティ）」と「マカフィー・ウイルススキャン（McAfee VirusScan ）/ マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス（McAfee Personal Firewall Plus）」の2種類が用意されています。各ソフトの特徴は次のとおりです。状況に合わせて選択してください。

・Norton Internet Security
ウイルス駆除やファイヤーウォール機能はもちろん、スパイウェアやスパムメールなどインターネットに潜むさまざまな危険からパソコンを守ります。初心者のかたにも使いやすくなっています。

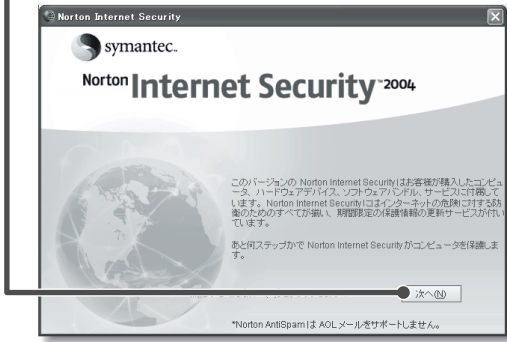
・マカフィー・ウイルススキャン／マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス
ブロードバンドを使用されているユーザにお勧めです。
面倒な設定なしで常に最新のセキュリティを全自動でダウンロードしますので、初心者のかたにも使いやすくなっています。

- インストールは後で行うこともできます。今すぐインストールしない場合は、［インストールしない］ボタンをクリックし、手順4へ進んでください。

3 ［インストールする］ボタンをクリックする

- インストール中のメッセージが表示されます。
- インストールが完了すると、パソコンの環境設定が終了したメッセージが表示されます。

4 ［再起動］ボタンをクリックする

- パソコンが再起動します。
  「Norton Internet Security」をインストールした場合は、再起動後に［Norton Internet Security］画面が表示されます。手順5へ進んでください。
- 後からウイルスチェックソフトをインストールする場合は、「3章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ」をご覧ください。

5 ［次へ］ボタンをクリックする

- 以降は、画面の指示に従って「Norton Internet Security」の保護機能の設定を行ってください。
  なお、［使用許諾契約］画面では、内容を確認し、［使用許諾に同意します］をチェック（◉）してください。契約に同意しなければ、「Norton Internet Security」を使用することはできません。

4 電源を切る／入れる

電源を切る

電源を切る正しい手順を覚えましょう。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い　電源を切る前に

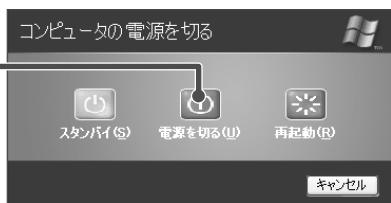
- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- DC IN LED、Power LED、Battery LED以外のLEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ［終了オプション］をクリックする

（表示例）

- ［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

3 ［電源を切る］をクリックする

- Windowsが終了し、電源が切れます。Power LEDが消灯します。
- 電源を切った後、ディスプレイは、静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。

お願い **電源を切った後は**

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切った後に切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐに入れないでください。故障の原因となります。

再起動とスタンバイ

Windowsを終了した後、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

① [スタート] ボタンをクリックし、表示されたメニューから［終了オプション］をクリックする
② [再起動] をクリックする

スタンバイについては、『応用にチャレンジ 4章 3-❶ スタンバイ』を参照してください。

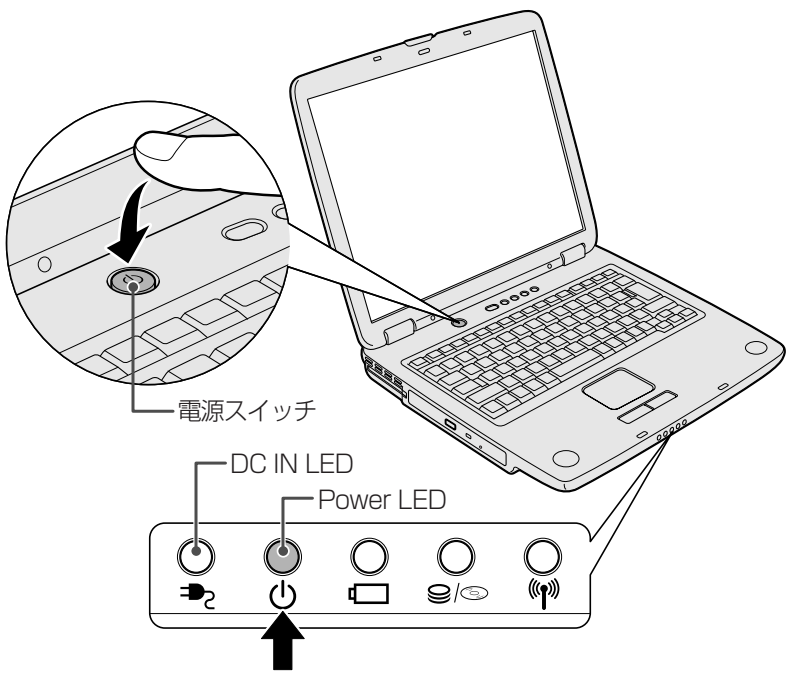
電源を入れる

Windowsセットアップを終えた後は、次の手順で電源を入れます。

お願い　電源を入れる前に

- 各スロットにメディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押す

- Power ⏻ LEDが緑色に点灯するまで、電源スイッチ（⏻マークのついているボタン）を押してください。

■電源に関する表示

電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF、休止状態中

日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えた後は、次の手順で日付と時刻を現在にあわせます。

①[スタート]ボタンをクリックし、表示されたメニューから[コントロールパネル]をクリックする
②[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックする
③[日付と時刻]をクリックする
[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。
④[日付]欄の または をクリックして年号をあわせる
⑤[日付]欄の をクリックして月をあわせる
⑥[日付]欄のカレンダーで日をクリックする
⑦[時刻]欄の または をクリックして時刻をあわせる
変更する時／分／秒をクリックしてから、 または をクリックします。
⑧[OK]ボタンをクリックする

時刻は、画面右下の[通知領域]に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタをあわせると表示されます。
正しく設定されているかどうか確認してください。

2章

基本操作を覚えよう

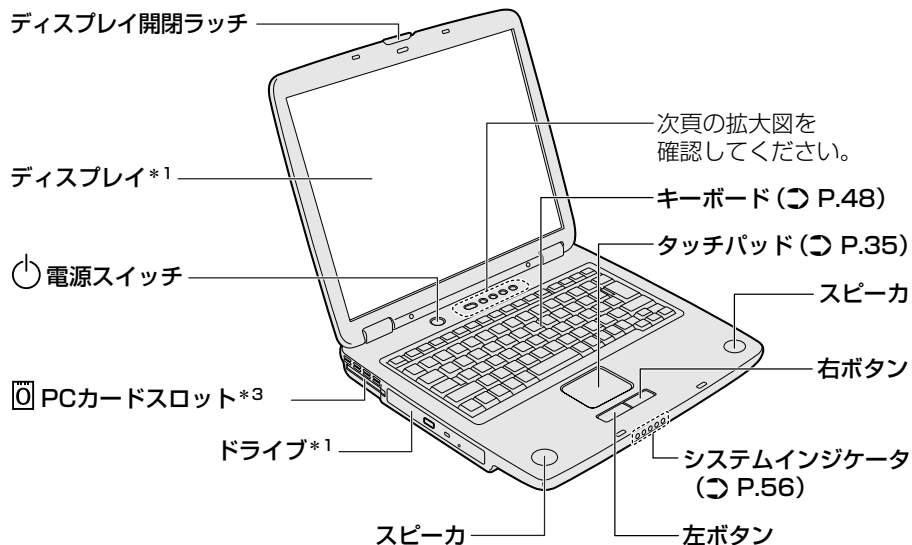
このパソコン本体の各部について、名称、役割、基本の使いかたなどを説明しています。
また、タッチパッドやマウス、キーボードの使いかた、CD／DVDのセットのしかたなど、パソコンを使うために必要な基本操作を紹介しています。

1　各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや各マニュアルを確認してください。

メモ

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。
  ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

1　前面図

＊１『応用にチャレンジ １章』を参照してください。
＊３『応用にチャレンジ ３章』を参照してください。

【拡大図】

2 背面図

ボリュームダイヤル＊1

ヘッドホン出力端子＊3

マイク入力端子＊3

i.LINK（IEEE1394）コネクタ＊3

パラレルコネクタ＊3

RGBコネクタ＊3

電源コネクタ

USBコネクタ＊3

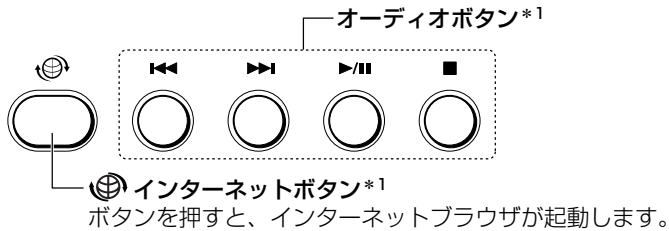
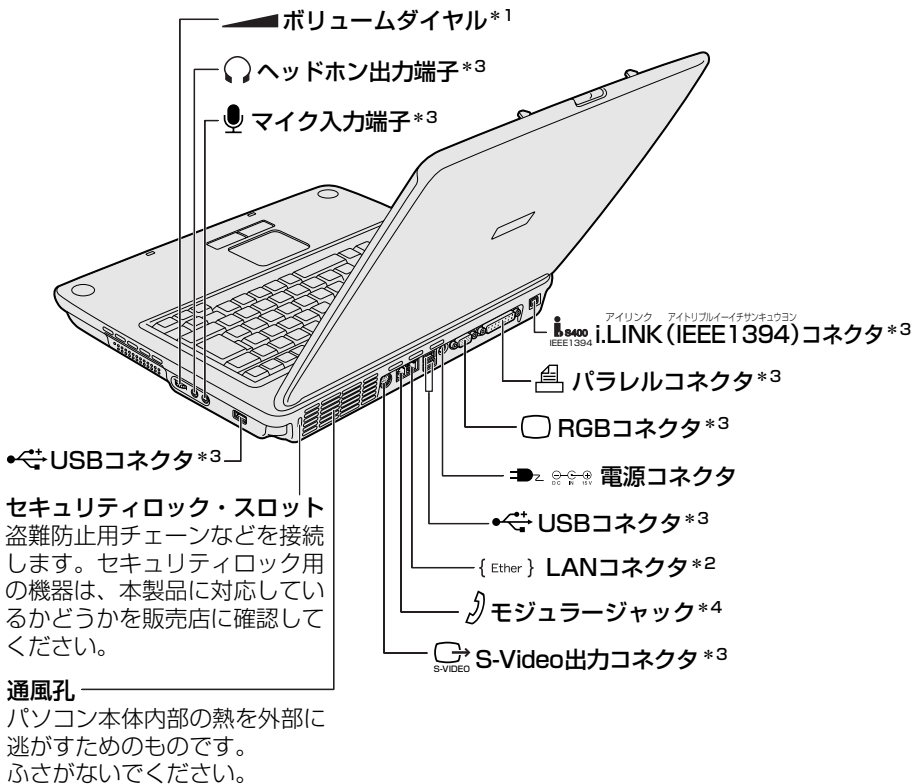
LANコネクタ＊2

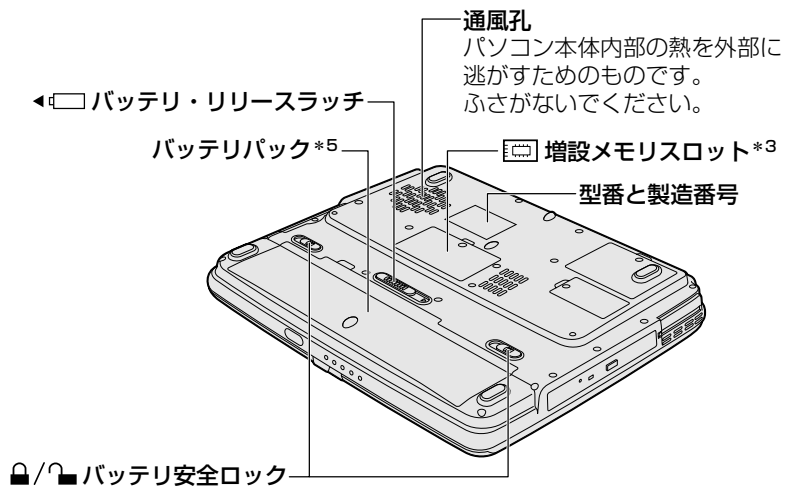
モジュラージャック＊4

S-Video出力コネクタ＊3

USBコネクタ＊3

セキュリティロック・スロット
盗難防止用チェーンなどを接続します。セキュリティロック用の機器は、本製品に対応しているかどうかを販売店に確認してください。

通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

＊１『応用にチャレンジ １章』を参照してください。
＊２『応用にチャレンジ ２章』を参照してください。
＊３『応用にチャレンジ ３章』を参照してください。
＊４《できる dynabook》を参照してください。

3 裏面図

＊３『応用にチャレンジ ３章』を参照してください。
＊５『応用にチャレンジ ４章』を参照してください。

⚠ 警 告

- 必ず、本製品付属のACアダプタを使用してください。本製品付属以外のACアダプタを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- パソコン本体にACアダプタを接続する場合、必ず「1章 パソコンの準備をする」に記載してある順番を守って接続してください。順番を守らないと、ACアダプタのDC出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。また、一般的な注意として、ACアダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注 意

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

【 電源コードの仕様 】

本製品に同梱されている電源コードは、日本の安全規格・法令に適合しています。使用できる電圧（AC）は100Vです。必ずAC100Vのコンセントで使用してください。
その他の地域で使用する場合は、当該地域の安全規格・法令に適合した電源コードを現地で購入のうえ、お使いください。

お願い パソコン本体／ACアダプタ／電源コードの取り扱いと手入れ

- 『安心してお使いいただくために』に、パソコン本体、ACアダプタ、電源コードを使用するときに守ってほしいことが記述されています。
  あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってからふきます。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。＊1
  温度５～35℃、湿度20～80％
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）／ホコリの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- 電源コードの電源プラグを長期間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、電源プラグにホコリがたまることがあります。火災・感電を防ぐために定期的にホコリをふき取ってください。

＊1　使用環境条件は、本製品の動作を保証する温湿度条件であり、性能を保証するものではありません。

2 タッチパッドとマウス

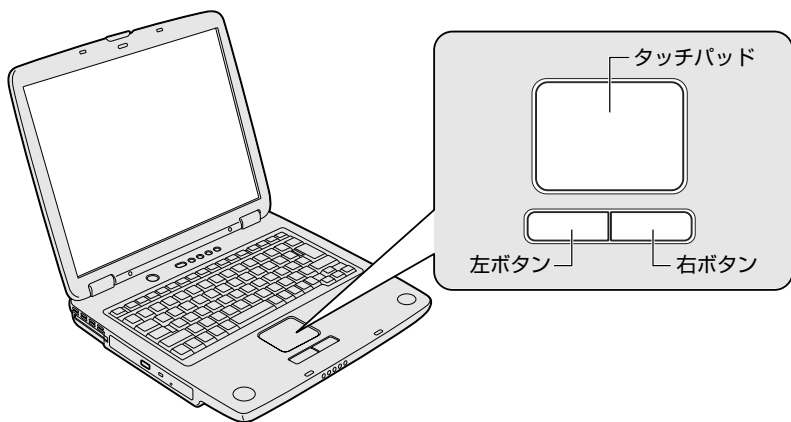
タッチパッドとマウスの使いかたと、使いやすく設定する方法を説明します。

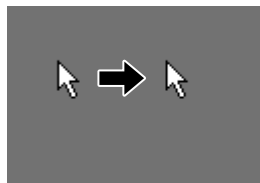
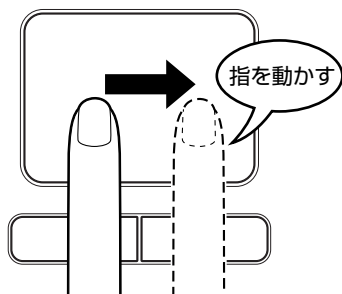
1 タッチパッド

電源を入れてWindowsを起動すると、パソコンのディスプレイに が表示されます。これを「ポインタ」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインタ」を動かしながらパソコンを操作していきます。
パソコン本体には、「ポインタ」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

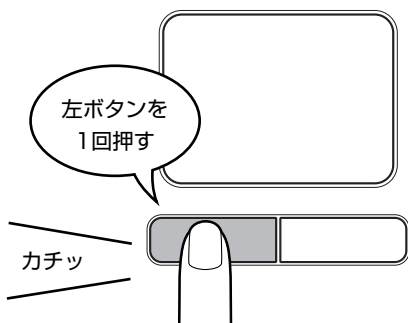
タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインタを動かし、パソコンを操作してみましょう。
ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

お願い 操作にあたって

タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

1 ポインタを動かす

操作を始める位置を示すポインタ。タッチパッドに置いた指の方向にあわせて動きます。指を上下左右に動かしてみましょう。
指がタッチパッドの端まできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指を離してから、タッチパッドの中央に置き直して操作します。

（画面）

2 クリックする

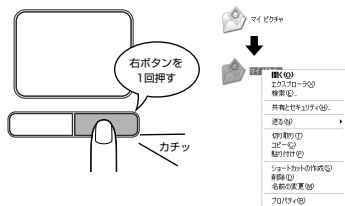
アイコン、文字などを選択するときに使います。ポインタを目的のアイコンや文字などの位置にあわせて、左ボタンを 1 回押します。
アイコンなどを選択すると、色が変わります。これを「反転表示」といいます。

役立つ操作集

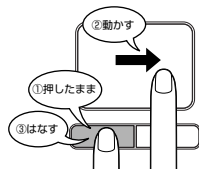
ダブルクリックする

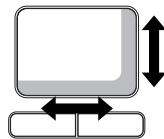
ダブルクリックすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく 2 回押します。

役立つ操作集

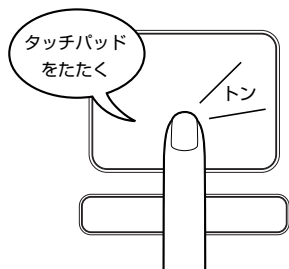
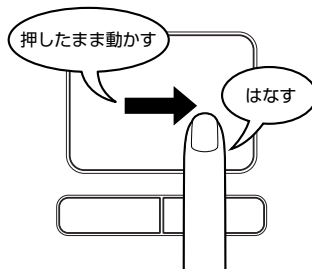
右クリックする

右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます。ポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを１回押します。

ドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドでポインタを動かします②（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。

スクロールする

スクロールとは画面を動かすことです。
スクロールすると画面に表示しきれない部分を見ることができます。
タッチパッドの右辺に指をおいて上下に動かすと、上下にスクロールします。
タッチパッドの下辺に指を置いて左右に動かすと、左右にスクロールします。

3 タッピング機能

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

【 クリック / ダブルクリック 】
タッチパッドを 1 回軽くたたくとクリック、2 回たたくとダブルクリックができます。

【 ドラッグアンドドロップ 】
タッチパッドを続けて 2 回たたき、2 回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。

お願い **タッチパッドの手入れ**

乾いた柔らかい素材のきれいな布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってからふきます。

2 タッチパッドの設定

タッチパッドやポインタの設定は、［マウスのプロパティ］で行います。

1 ［マウスのプロパティ］の起動方法

1 ［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

2 ［ マウス］をクリックする

［マウスのプロパティ］画面が表示されます。

モデルによっては、表示されるタブの数が異なる場合があります。

（表示例）

3 各タブで機能を設定し、［OK］ボタンをクリックする

各機能の設定については、《サイバーサポート（検索）：タッチパッドの使用環境を設定する》を参照してください。

［キャンセル］ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

役立つ操作集

タッチパッドを無効／有効にするには

［タッチパッドON/OFF］タブの［無効］をチェックすると、タッチパッドからの操作ができなくなります。［有効］をチェックすると、タッチパッドが使用可能になります。

タッチパッドの無効／有効は、FN＋F9キーでも切り替えることができます。

3 PadTouch 機能を使う

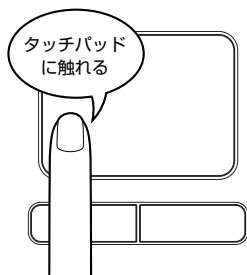
「PadTouch(パッドタッチ)」は、タッチパッドの操作により、さまざまな機能を簡単に実行できるアプリケーションです。
次のようなときに使用すると便利です。

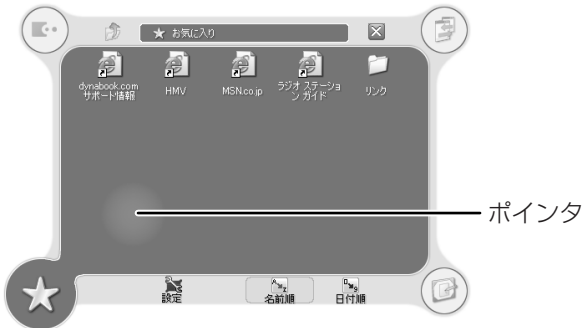
- ウィンドウでデスクトップが隠れているときに、デスクトップ上のファイルを開きたい
- Internet Explorer の［お気に入り］に登録されているホームページを開きたい
- 現在実行中のウィンドウの一覧を表示して、アクティブなウィンドウを切り替えたい

「PadTouch」は、購入時の状態ではパソコンに電源を入れると自動的に起動し、通知領域にアイコン（ ）が表示されます。

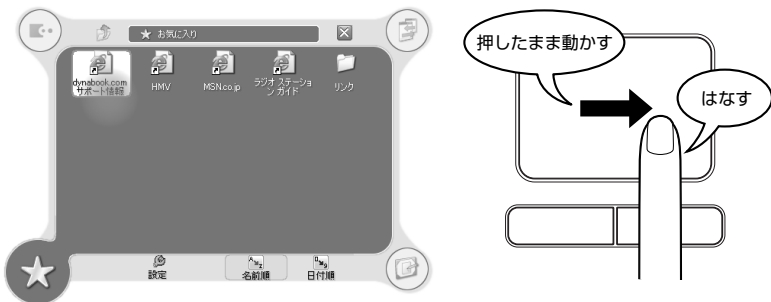
1 使用方法

次のように操作して、PadTouch を使用してください。

1 タッチパッドのコーナーに数秒間触わる

このとき、指を動かさないで触ったままにしてください。

PadTouch の画面が表示されます。
表示される画面のことを、PadTouch では「テーブル」と呼びます。丸い形状のものは、テーブル上のどこが操作対象になるのかを示すポインタです。タッチパッドに触ったまま指をすべらせると、テーブル上をポインタが動きます。

表示されているテーブルは、タッチパッドの左下コーナーに触れた場合に起動する［お気に入り］のテーブルです。
起動するテーブルは、タッチパッドのどこに触れるかによって違います。購入時は、次のように設定されています。

右上コーナーの場合	［ウィンドウ切り替え］テーブル
右下コーナーの場合	［デスクトップ］テーブル
左上コーナーの場合	［dynabook オリジナルツール］テーブル
左下コーナーの場合	［お気に入り］テーブル

2　ポインタを目的のアイコンにあわせ、タッチパッドから手をはなす

ポインタをあわせたアイコンのプログラムなどが起動します。

手をはなしてプログラムなどを起動させた場合、それまで表示されていたテーブルは自動的に消えます。
何も選択しないでテーブルを消したい場合は、［閉じる］ボタン（ ）にポインタをあわせた状態、または、どのアイコンにもポインタをあわせていない状態で、タッチパッドから手をはなしてください。

2 設定方法

PadTouch では、起動するプログラムや画面デザインなどを設定することができます。
次のように操作して、設定画面を起動してください。

1 タッチパッドのコーナーに触れてテーブルを表示し、［設定］にポインタをあわせて手をはなす

PadTouch の設定画面が表示されます。

設定の詳細については、ヘルプを参照してください。

3 PadTouchを無効にする方法

PadTouch を無効にするには、次のように操作してください。

1 通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［無効にする］をクリックする

PadTouch が使用できなくなります。

再び PadTouch を使用したい場合は、通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［有効にする］をクリックしてください。

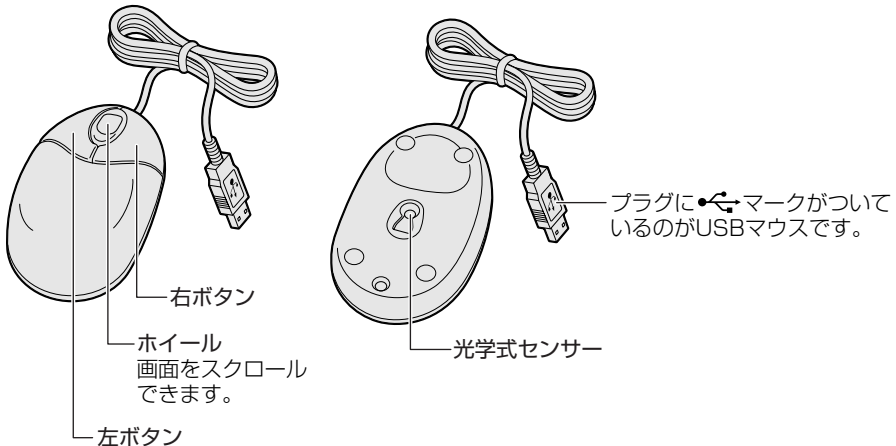
ヘルプの起動方法

1 通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［ヘルプ］をクリックする

4 マウス

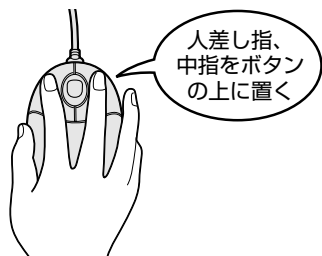
マウスはタッチパッドの左ボタン／右ボタンと同じ働きをします。
マウス同梱モデルには、USB（ユーエスビー）対応の光学式マウスが同梱されています。USB コネクタに接続して使用してください。
マウスは、Windows のセットアップが終わった後に接続してください。

参照 マウスの接続について
『応用にチャレンジ 3 章 4 USB 対応機器を接続する』

マウスを使ってポインタを動かしたり、クリック、ダブルクリックなどをしてみましょう。

注 意

- マウス底面の光学式センサーの赤い光を直接見ないでください。目を痛めるおそれがあります。

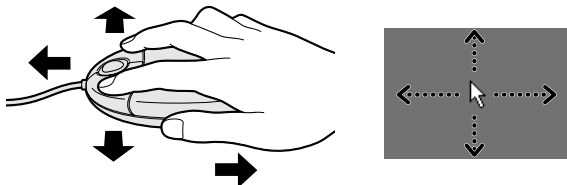
マウスの持ちかた

マウスを手のひらで包むように持ち、人さし指と中指を各ボタンの上に置きます。

マウスをうまく動かすポイント

マウスを動かす場所がなくなったときは、いったんマウスを持ち上げ、マウスを動かせる位置に戻します。

- マウスの使用場所
  マウスは平らな場所で使用してください。
  グリッドなどの細かい模様のあるもの、または専用のマウスパッド上での使用を推奨します。
  また、ガラスなどの透明な素材、鏡や光沢のあるビニールなどの光を反射する素材の上では使用しないでください。光学式センサーがうまく動作しない場合があります。

1 ポインタを動かす

滑らせるようにしてマウスを上下左右に動かします。ポインタがマウスの動きにあわせて動きます。

2 クリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを 1 回押すことです。

役立つ操作集

ダブルクリックする

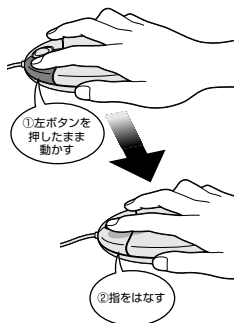
ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく 2 回押すことです。

ダブルクリックするときは、マウスが動かないように固定した状態でボタンを押してください。

右クリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを 1 回押すことです。

ドラッグアンドドロップする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを押したまま、マウスを動かします①（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、ボタンから指を離します②（ドロップ）。

スクロールする

ホイールを前後にまわすと、まわした方向にスクロールされます。

5 マウスの設定

マウスのボタンなどの設定もできます。

1 マウスの設定を変更する

1 ［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

2 ［ マウス］をクリックする

［マウスのプロパティ］画面が表示されます。
［ボタン］タブで設定します。

ボタンの構成	マウスの右ボタンと左ボタンの役割を入れ換えます。
ダブルクリックの速度	スライダーバーを動かして、ダブルクリックするときの速度を調整します。
クリックロック	マウスのボタンを押したままにしなくても、ドラッグできるようにします。

ポインタの形や速度を変える

［マウスのプロパティ］では、ポインタの形や速さなどを変えることができます。
［ポインタ］タブでは形を、［ポインタオプション］タブでは速さとポインタを動かしたときの軌跡などを設定できます。

ヘルプの起動方法

1 ［マウスのプロパティ］画面を起動後、画面右上の ? をクリックする

ポインタが ? に変わります。

2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

3 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。

1 キーボード図

＊モデルによっては、キーボードのマーク（アイコン）や文字のサイズが異なるものがあります。

Arrow Mode(アローモード)LED
文字入力のアロー状態を示す

Numeric Mode(ニューメリックモード)LED
文字入力の数字ロック状態を示す

PRTSC(プリントスクリーン)
＜SYSRQ(システムリクエスト)＞キー

PAUSE(ポーズ)＜BREAK(ブレーク)＞キー

INS(インサート)キー
文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときなどに使う

DEL(デリート)キー
文字を削除するときなどに使う

BACKSPACE
(バックスペース)キー

ENTER(エンター)キー
作業を実行するときなどに使う

オーバレイキー

SHIFT(シフト)キー

矢印キー
カーソル移動などに使う
また、FN（エフエヌ）キーとの組み合わせにより、特殊機能を実行するときに使う

CTRL(コントロール)キー

アプリケーションキー
タッチパッド手前の右ボタンやマウスの右ボタンを押すことと同じ動作を行いたいときに使う

ALT（オルト）キー

カナ／かな＜ローマ字＞キー

変換キー

キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

- 簡単にアプリケーションを起動するキー

参照 《サイバーサポート（検索）：簡単にアプリケーションを起動するキー》

- (FN)キーを使ったショートカットキー

参照 《サイバーサポート（検索）：［FN］キーを使った特殊機能キー》

- (Windows)キーを使ったショートカットキー

参照 《サイバーサポート（検索）：［ウィンドウズ］キーを使ったショートカットキー》

- 特殊機能キー

参照 《サイバーサポート（検索）：特殊機能キー》

2 キーシフトインジケータの切り替え

キーシフトインジケータは、どんな文字が入力できる状態かを示します。

各インジケータの役割と切り替え方法は、次の表のようになっています。それぞれの状態がオンになっているとき、LED が点灯します。

【 キーシフトインジケータ 】

LED	切り替えキー	文字入力の状態
Caps Lock LED	(SHIFT)＋(CAPS LOCK 英数)	**大文字ロック状態** 文字キーで英字の大文字が入力できます。
Arrow Mode LED	(FN)＋(F10)	**アロー状態** オーバレイキーで、キーの前面左側に印刷されたカーソル制御ができます。
Numeric Mode LED	(FN)＋(F11)	**数字ロック状態** オーバレイキーで、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

それぞれの文字入力状態を解除するには、切り替えキーをもう 1 度押して LED を消灯します。
すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合は、アロー状態と数字ロック状態は解除してください。

お願い キーボードの取り扱いと手入れ

柔らかい乾いた素材のきれいな布でふいてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってふきます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または保守サービスに相談してください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、ただちに電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

4 CD ／ DVD

CD ／ DVD のセットと取り出しについて説明します。
CD ／ DVD は、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。

参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1 章 5 ドライブ』

同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に、CD ／ DVD を使用するときに守ってほしいことが記述されています。操作を始める前にその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い 操作にあたって

- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD ／ DVD を取り出す操作をしないでください。CD ／ DVD が傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD ／ DVD のデータやドライブが壊れるおそれがあります。

参照 イジェクトホールについて「本節 ❷ CD ／ DVD の取り出し」

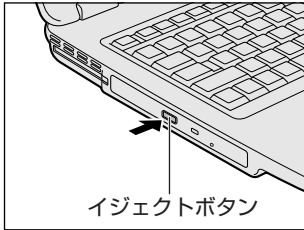
- ドライブのトレイを開けたときに、CD ／ DVD が回転している場合には、停止するまで CD ／ DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブに CD ／ DVD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。
- CD ／ DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD ／ DVD を正しくディスクトレイにセットしないと CD ／ DVD を傷つけることがあります。

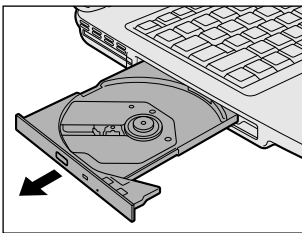
チェック

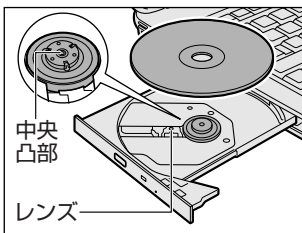
- 傷ついたり汚れのひどい CD ／ DVD の場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。
- CD ／ DVD の特性や CD ／ DVD への書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。

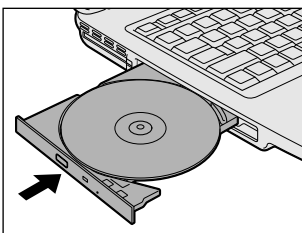
1 CD／DVDのセット

1 パソコン本体の電源を入れる

2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。
※購入したモデルによってイジェクトボタンの位置は異なります。

3 ディスクトレイを引き出す

CD／DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 文字が書いてある面を上にして、CD／DVDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

② CD／DVDの取り出し

1 パソコン本体の電源が入っているか確認する

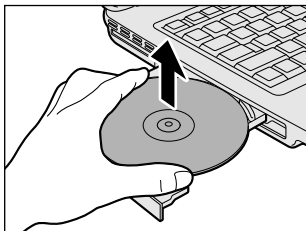
電源が入っていない場合は電源を入れてください。

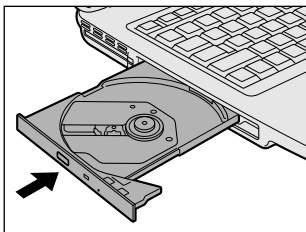
2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

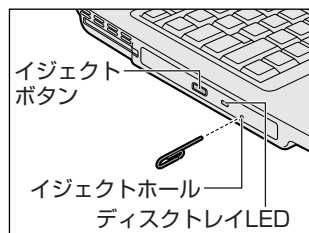
3 ディスクトレイを引き出す

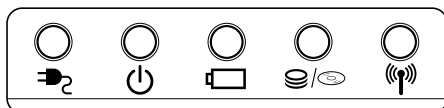
CD／DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD／DVDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

CD／DVDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

【 ディスクトレイが出てこない場合 】

電源を切っているときは、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。次の場合は、電源が入っていても、イジェクトボタンを押した後すぐにディスクトレイは出てきません。ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後
- ドライブ関係の LED が点灯しているとき

5 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

【 システムインジケータ 】

(DC IN)	DC IN LED	電源コードの接続の状態 参照 P.28
(電源)	Power LED	電源の状態 参照 P.28
(バッテリ)	Battery LED	バッテリの状態 参照 『応用にチャレンジ 4章 1 バッテリについて』
(ディスク)/(CD)	Disk/CD-ROM LED	ハードディスクドライブまたはドライブにアクセスしている 参照 『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』
(無線)	――――	本製品では無線通信機能を標準搭載していないので、動作しません。

3章

ウイルスや不正アクセスを防ぐ

コンピュータウイルス（パソコンにトラブルを発生させるプログラム）やハッカーによる個人情報へのアクセスなど、インターネットを使っていると知らない間にトラブルが襲いかかってくるおそれがあります。
ここでは、本製品に添付されているウイルスチェックソフトについて説明します。

1 ウイルスチェック／セキュリティ対策

コンピュータウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊され、パソコンが使用できなくなることがあります。また、インターネットを経由して、コンピュータに残している個人情報にアクセスされる危険があります。コンピュータウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、ウイルスチェックソフトをインストールして、普段から定期的にコンピュータウイルスの検出を行うようにしてください。

1 ウイルスチェックソフトについて

本製品では、次の2種類のウイルスチェックソフトから選択することができます。

- Norton Internet Security（ノートン・インターネットセキュリティ）
  ウイルス駆除やファイアウォール機能はもちろん、スパイウェアやスパムメールなどインターネットに潜むさまざまな危険からパソコンを守ります。初心者のかたにも使いやすくなっています。

  参照 「本章 2 Norton Internet Security」

- **マカフィー・ウイルススキャン（McAfee VirusScan）／マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス（McAfee Personal Firewall Plus）**
  ブロードバンドを使用されているユーザにお勧めです。
  面倒な設定なしで常に最新のセキュリティを全自動でダウンロードしますので、初心者のかたにも使いやすくなっています。

  参照 「本章 3 マカフィー・セキュリティ対策」

お願い 使用するにあたって

- 「Norton Internet Security」または「マカフィー・ウイルススキャン」／「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」のどちらか片方だけインストールしてください。両方ともインストールした場合は、正常に動作しない場合があります。
- ウイルス感染を防止するには、インストール後、常に最新のウイルス定義ファイルをダウンロードしてください。
- 本製品に添付されている「Norton Internet Security」の「LiveUpdate」、「マカフィー・ウイルススキャン」／「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」は90日間の使用期限があります。使用期限が切れた後は、更新／延長の申し込み、または市販品をお買い求めください。
  市販品や異なるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているウイルスチェックソフトをすべてアンイン

ストールしてから行ってください。

- 「Norton Internet Security」もしくは「マカフィー・ウイルススキャン」／「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」をインストールすると、Windows ファイアウォールは無効に設定されます。
- Windows ファイアウォールと、「Norton Internet Security」もしくは「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」のセキュリティ機能（ファイアウォールなど）が両方とも有効になっていると、アプリケーションなどが正常に動作しない場合があります。1 つのセキュリティ機能のみ有効にしてください。

参照 Windows ファイアウォールについて《できる dynabook》

参照 ウイルスチェックソフトのセキュリティ機能について
「Norton Internet Security」のヘルプ
「マカフィー・セキュリティーセンター」のヘルプ

役立つ操作集

Windows セキュリティセンターについて

「Windows　セキュリティセンター」は、セキュリティの設定をしたり、Windows ファイアウォール、自動更新、ウイルスチェックソフトの状態をチェックしたりするなど、パソコンのセキュリティを向上させるお手伝いをします。

セキュリティセンターはパソコンが危険にさらされている場合、通知領域にアイコンなどで警告します。

詳しい操作方法は《できる dynabook》を確認してください。

2 Norton Internet Security

コンピュータウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊されたり、使用できなくなることがあります。ウイルス感染を防ぐために、インターネットへの接続やメールの送受信をする前に、必ずウイルスチェックソフトをインストールし、普段から定期的にコンピュータウイルスの検索を行うようにしてください。
本製品には、「Norton Internet Security(ノートン・インターネット セキュリティ)」が添付されています。「Norton Internet Security」のNorton AntiVirus(ノートン・アンチウイルス)機能を使って、ウイルスチェックを行ってください。

1 Norton Internet Securityのインストール

お願い インストールを行うにあたって

- 「Norton Internet Security」以外のウイルスチェックソフトをインストールしてある場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。
- インストールしてすぐに、LiveUpdate(ライブアップデート)で最新のウイルス定義ファイルを必ずダウンロードしてください。
- インストール終了後、自動的にLiveUpdateを行うこともできます。
  LiveUpdateはインターネットに接続して行いますので、あらかじめインターネットに接続する設定を行っておいてください。
  LiveUpdateはインストール後も定期的に行い、常に最新のウイルス定義ファイルをダウンロードしてください。

参照 LiveUpdateについて「本節 ❷-2 ウイルス定義ファイルの更新」

インストールは、Windowsのセットアップ直後に行うことをお勧めしますが、後からインストールする場合は次のように行ってください。

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アプリケーションの再インストール]をクリックする

2 [セットアップ画面へ]をクリックする

3 [アプリケーション]タブをクリックする

4 画面左側の[Norton Internet Security]をクリックし、[「Norton Internet Security」のセットアップ]をクリックする

以降は、表示される画面の指示に従って操作してください。
[ファイルのダウンロード]画面が表示された場合は、[実行]ボタンをクリックしてください。

② Norton AntiVirusでチェックする

1 ウイルスをチェックする

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 ［Norton Internet Security］画面左側の［Norton AntiVirus］をクリックする

画面右側が［システム状態］画面に切り替わります。

3 画面左側の［ウイルススキャン］をクリックする

画面右側が［ウイルススキャン］画面に切り替わります。

4 画面右側の［タスク］からウイルスチェックをする項目をクリックする

5 画面右側の［処理］の［スキャン］をクリックする

手順４でクリックした項目によって、次の動作になります。

- ［コンピュータをスキャン］［すべてのリムーバブルドライブをスキャン］［すべてのフロッピーをスキャン］をクリックした場合

  ウイルスチェックを開始します。

- ［ドライブをスキャン］をクリックした場合

  ドライブの一覧が表示されます。ウイルスチェックをするドライブの左にチェックマーク（☑）をつけ、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

- ［フォルダをスキャン］をクリックした場合

  フォルダの一覧が表示されます。ウイルスチェックをするフォルダの左にチェックマーク（☑）をつけ、［スキャン］ボタンをクリックしてください。

- ［ファイルをスキャン］をクリックした場合

  ファイルの一覧が表示されます。ウイルスチェックをするファイルを指定し、［開く］ボタンをクリックしてください。

ウイルスのチェックが始まります。チェック後、結果画面が表示されます。

ウイルスが発見されたら、感染しているファイルを削除するなど修復し、問題を解決してください。
ウイルスやファイルの種類によって、次に表示される画面が異なります。詳しくは、ヘルプを確認してください。

6 ［完了］ボタンをクリックする

2 ウイルス定義ファイルの更新

コンピュータウイルスは、次々と新しいものが出現しますので、LiveUpdate を使ってウイルス定義ファイルを更新する必要があります。
LiveUpdate はインターネットに接続して行います。あらかじめインターネットに接続する設定を行ってから操作を始めてください。

参照 インターネットの接続について《できる dynabook》

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 ［Norton Internet Security］画面で［LiveUpdate］ボタンをクリックする

［LiveUpdate］画面が表示されます。

3 ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

本製品に添付されている「Norton Internet Security」のウイルス定義ファイルの更新期限は、使用開始から 90 日間です。
期限が切れてしまうと、LiveUpdate ができなくなり最新のウイルスに感染する危険があります。

期限終了後は、シマンテックにてウイルス定義ファイルの更新手続き（有償）を行うと、さらに 1 年間のサービスを受けることができます。

参照 期限切れによる更新サービスの延長申し込みについて
「本節 ❸-2-Norton Internet Security の問い合わせ先」

役立つ操作集

Norton AntiVirus を使用する

通知領域の［Norton AntiVirus］アイコン（ ）をダブルクリックすると、Norton AntiVirus のメインウィンドウを起動できます。
ウイルスチェックのみ行う場合などに便利です。
Norton AntiVirusのメインウィンドウを起動してウイルスチェックする場合は、「本項 1 ウイルスをチェックする」の手順 3 から操作してください。

3 Norton Internet Security の設定

「Norton Internet Security」には、コンピュータウイルスを検出／除去する AntiVirus の機能のほかに次の機能があります。

- Norton Personal Firewall（ノートン・パーソナル ファイアウォール）
  インターネットを通したパソコンへの不正なアクセスなどから防御します。
- Norton AntiSpam（ノートン・アンチスパム）
  スパムメールなどの迷惑メールの検出をします。
- プライバシー制御機能
  インターネットなどを通して個人情報が漏れるのを防止します。
- 保護者機能
  子供に不適切と思われるインターネットのコンテンツへのアクセスを遮断するなど、ユーザアカウントごとにインターネットアクセス権を設定できます。

これらのコンピュータ保護のための機能は必要に応じて変更することができます。
また［Norton Internet Security］画面では、プログラムの活動を監視することもできます。

1 状態／設定画面の表示

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする

［Norton Internet Security］画面が表示されます。

2 画面左側の［状態と設定］をクリックする

画面右側にシステムの状態と保護の設定が表示されます。

2 保護機能の設定を変更する

保護機能の設定項目は後から変更することもできます。

1 状態／設定画面を表示する

2 画面右側から変更する項目をクリックする

3 画面右下の［無効にする］または［設定］などをクリックする

インターネット接続の設定について

「Norton Internet Security」にはインターネットに接続できるアプリケーションを許可したり遮断したりする機能があります。アプリケーションのインターネット接続を許可すると、インターネットに接続できます。アプリケーションのインターネット接続を遮断すると、インターネットに接続できなくなります。
再びインターネットの接続を許可／遮断したい場合は、《サイバーサポート（検索）：アプリケーションのインターネット接続を許可する》を参照して設定してください。

ヘルプの起動

1 ［Norton Internet Security］画面でツールバーの［ヘルプとサポート］→［Norton Internet Security ヘルプ］をクリックする

PDFマニュアルを見る方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］をクリックする

2 画面左の［マイコンピュータ］をクリック→［XXXXX（C:)］をクリック→［app&drv］をクリック→［NortInter］をクリック→［NortInter］をクリック→［MANUAL］をクリックする

3 画面右から［NIS］アイコンをダブルクリックする

「Norton Internet Securityユーザーズガイド」が開きます。

Norton Internet Securityの問い合わせ先

●技術的なお問い合わせ

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートチケットをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

＊テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

ユーザー登録サイト：

http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/index.html

3 マカフィー・セキュリティ対策

コンピュータウイルスの発見、駆除を行う「マカフィー・ウイルススキャン」と、インターネットからの不正なアクセスを防ぐ「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」の2種類のアプリケーションで、コンピュータをインターネットの危険から保護します。
「マカフィー・ウイルススキャン」と「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」は、「マカフィー・セキュリティセンター（McAfee SecurityCenter）」で設定の変更や、状況の確認を行うことができます。

1 マカフィー・セキュリティ対策のインストール

お願い **インストールを行うにあたって**

- 「マカフィー・ウイルススキャン」と「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」以外のウイルスチェックソフトをインストールしてある場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。
- インストールしてすぐに、「マカフィー・セキュリティセンター」のアップデートをダウンロードし、最新のウイルスに対応できるようにしてください。
  インターネットに接続して行いますので、あらかじめインターネットに接続できる設定をしておいてください。
  インストール後は、自動的にインターネット接続を確認し、常に最新のウイルス定義ファイルと製品アップデート情報がダウンロードされます。

インストールは、Windowsのセットアップ直後に行うことをお勧めしますが、後からインストールする場合は次のように行ってください。

1 マカフィー・ウイルススキャンのインストール方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

3 ［アプリケーション］タブをクリックする

4 画面左側の［マカフィー・ウイルススキャン］をクリックし、［「マカフィー・ウイルススキャン」のセットアップ］をクリックする

以降は、表示される画面の指示に従って操作してください。
［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

2 マカフィー・パーソナルファイアウォールプラスのインストール方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

3 ［アプリケーション］タブをクリックする

4 画面左側の［マカフィー・ウイルススキャン］をクリックし、［「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」のセットアップ］をクリックする

以降は、表示される画面の指示に従って操作してください。
［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

メモ

- 設定した内容は、「マカフィー・セキュリティセンター」やそれぞれのアプリケーションから必要に応じて変更できます。

インストール完了後、マカフィー製品を使用する場合、初回アップデート時にお客様のE-Mail アドレス、名前、パスワードの登録が必要となります。
登録完了後には、お客様情報の確認のため、登録完了メールが送付されますので、そちらを確認してください。使用期限は、登録完了から90日間です。

② マカフィー・セキュリティセンターでチェックする

「マカフィー・ウイルススキャン」または「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」をインストールすると、「マカフィー・セキュリティセンター」のアイコンが通知領域に表示されるようになります。「マカフィー・セキュリティセンター」から、「マカフィー・ウイルススキャン」や「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」の操作や起動、設定を変更することができます。

1 マカフィー・セキュリティセンターの表示方法

1 通知領域の［McAfee SecurityCenter］アイコン（ M ）をダブルクリックする

「マカフィー・ウイルススキャン」または「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」に問題がある場合は、アイコンが黒（ M ）で表示されます。「マカフィー・セキュリティセンター」を確認するか、アップデートを行ってください。

［McAfee SecurityCenter］画面が表示されます。

2 アップデート方法

コンピュータウイルスは、次々と新しいものが出現しますので、［アップデート］機能を使用して、インターネットから最新のコンピュータウイルスに対応できるアップデートファイルをダウンロード／インストールする必要があります。
アップデートは自動で行えますが、ここでは手動で行う方法を説明します。
アップデートはインターネットに接続して行います。
あらかじめインターネットに接続できる準備をしておいてください。

1 ［アップデート］（　）をクリックする

［McAfee SecurityCenter 更新］画面が表示されます。

2 ［今すぐ確認する］ボタンをクリックする

以降は、表示される画面の指示に従って操作してください。

3 マカフィー・ウイルススキャンでチェックする

インストール直後は必ずウイルススキャンを行い、パソコン内のコンピュータウイルスの検索と駆除を行ってください。

1 ［McAfee SecurityCenter］画面の［VirusScan］タブをクリックする

2 ［コンピュータのウイルスをスキャンする］をクリックする

［McAfee VirusScan － ウイルススキャン］画面が表示されます。

3 ［スキャンする場所］でウイルススキャンしたい場所を選択する

4 ［スキャン］ボタンをクリックする

［McAfee VirusScan － スキャン中］画面に切り替わり、ウイルススキャンを開始します。

スキャンが終了し、ウイルスが発見されなかった場合、［McAfee VirusScan － スキャンの概要］画面が表示されます。

5 ［OK］ボタンをクリックする

6 ［閉じる］ボタンをクリックする

マカフィー・セキュリティセンターのヘルプの起動方法

1 「マカフィー・セキュリティセンター」を起動後、[ヘルプ](?)をクリックする

[McAfee SecurityCenterのヘルプ] が表示されます。

お願い

- コンピュータウイルスは、次々と新しい種類が出現します。アップデートを使って、常に最新のウイルス定義ファイルをダウンロードしておいてください。アップデートに関しては、マカフィー・セキュリティセンターのヘルプをご覧ください。
- 本製品に添付されている「マカフィー・ウイルススキャン」/「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」の有効期限は、使用開始から90日間です。
  期限が切れてしまうと、アップデートなどの機能が使用できなくなり最新のウイルスに感染するおそれがあります。
  期限終了後は期限切れのメッセージが表示されますので、メッセージに従い、更新サービスをお申し込みいただくことでサービスを継続延長することができます。

マカフィー・ウイルススキャン/マカフィー・パーソナルファイアウォールプラスのお問い合わせ先

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
(主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。)

受付時間 : 9:00~17:00(土・日・祝祭日除く)
TEL : 0570-030-088
E-mail : http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
ホームページ : http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター
(主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。)

受付時間 : 9:00~21:00(年中無休)
TEL : 0570-060-033
E-mail : http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
ホームページ : http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

4章

パスワードについて

本製品では、パスワードを設定することができます。
本章では、Windows へのログオンパスワードの設定方法や使いかたを説明します。
また、その他に用意されているパスワードも紹介します。

1 Windowsログオンパスワード

Windows ログオンパスワードとは

パソコンのシステム（Windows）に入るときのパスワードを設定することができます。このパスワードのことを「Windows ログオンパスワード」と呼びます。
Windowsログオンパスワードを設定すると、パソコンの電源を入れた後に、パスワードの入力を求められます。パスワードを知らない人はパソコンの中身を見ることができなくなるので、自分のフォルダやファイルの安全とプライバシーを保護することができます。

1 Windows ログオンパスワードの設定

Windows ログオンパスワードの設定方法について説明します。

1 設定方法

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ ユーザーアカウント］をクリックする

Office が搭載されていない場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順４へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順５へ進んでください。

3 ［ ユーザーアカウント］をクリックする

Office 搭載モデルの場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順４へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順５へ進んでください。

4 パスワードを設定するアカウント（ユーザ名）のアイコンをクリックする

5 ［パスワードを作成する］をクリックする

［アカウントのパスワードを作成します］画面が表示されます。

6 ［新しいパスワードの入力］にパスワードを入力する

パスワードは半角英数字で、127 文字まで入力できますが、最も安全である７文字または 14 文字で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。入力した文字は「●●●●」で表示されます。

7 TAB キーを押す

カーソルが［新しいパスワードの確認入力］に移動します。

8 もう 1 度パスワードを入力する

必要であれば、パスワードを忘れたときにパスワードのヒントになる語句を［パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力］欄に入力してください。

9 ［パスワードの作成］ボタンをクリックする

アカウントのパスワードを作成します

新しいパスワードの入力:

●●●●

新しいパスワードの確認入力:

●●●●

パスワードに大文字が含まれる場合は、ログオンするたびに同じようにパスワードを入力する必要があります。

パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力:

パスワードのヒントはこのコンピュータを使用するすべての人が見ることができます。

パスワードの作成(C)　キャンセル

10「コンピュータの管理者アカウント」のユーザで［ファイルやフォルダを個人用にしますか？］画面が表示された場合は、［はい、個人用にします］ボタンをクリックする

ファイルやフォルダを共有する場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

パスワードが設定されました。

2 Windows ログオンパスワードの入力

Windows ログオンパスワードを設定すると、パソコンの電源を入れたときに、パスワード入力画面が表示されます。

1 入力方法

1 設定したパスワードを入力し、➔ ボタンをクリックする

パスワードは大文字、小文字が区別され、入力した文字は「●●●●」で表示されます。

パスワードの登録時に、パスワードのヒントを入力すると、➔ ボタンの隣に ? ボタンが表示されます。? ボタンをクリックすると、パスワードのヒントを表示できます。

パスワードが正しければ Windows の起動画面が表示されます。

役立つ操作集

Windowsログオンパスワードの変更

① [コントロールパネル]を開き、[ユーザーアカウント]をクリックする
Officeが搭載されていない場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。
② [ユーザーアカウント] をクリックする
Office搭載モデルの場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。
③ パスワードを変更するアカウント（ユーザ名）のアイコンをクリックする
④ [パスワードを変更する] をクリックする
⑤ [現在のパスワードの入力] に現在設定しているパスワードを入力する
「コンピュータの管理者アカウント」のユーザが、自分以外のユーザのパスワードを変更する場合、手順⑤、⑥は必要ありません。
⑥ TABキーを押す
⑦ 変更したいパスワードを入力する
⑧ TABキーを押す
⑨ もう1度変更したいパスワードを入力する
⑩ 必要であれば、パスワードのヒントになる語句を［パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力］欄に入力する
⑪ [パスワードの変更]ボタンをクリックする

Windowsログオンパスワードの削除

① [コントロールパネル]を開き、[ユーザーアカウント] をクリックする
Officeが搭載されていない場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。
② [ユーザーアカウント] をクリックする
Office搭載モデルの場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。
③ パスワードを削除するアカウント（ユーザ名）のアイコンをクリックする
④ [パスワードを削除する] をクリックする
⑤ 表示された画面で、現在設定されているパスワードを入力する
「コンピュータの管理者アカウント」のユーザが、自分以外のユーザのパスワードを削除する場合、手順⑤は必要ありません。
⑥ [パスワードの削除]ボタンをクリックする

役立つ操作集

パスワードを忘れたときのために

「パスワードリセットディスク」を作成しておくと、そのディスクでパソコンにアクセスし、新たにパスワードを作り直してログオンすることができます。作成したパスワードリセットディスクは、安全な場所に保管してください。

● 作成方法

パスワードリセットディスクを作成するには、フォーマット済みのフロッピーディスクが必要です。また、あらかじめ外付けのフロッピーディスクドライブを準備しておいてください。

参照 詳細について『ヘルプとサポート センター』

① ［コントロールパネル］を開き、［ ユーザーアカウント］をクリックする
Office が搭載されていない場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。

② ［ ユーザーアカウント］をクリックする
Office搭載モデルの場合、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザは手順③へ、「制限付きアカウント」のユーザは手順④へ進んでください。

③ パスワードリセットディスクを作成するアカウント（ユーザ名）のアイコンをクリックする

④ ［関連した作業］の［パスワードを忘れないようにする］をクリックする
［パスワード ディスクの作成ウィザード］画面が表示されます。

⑤ 表示されるメッセージに従って操作する
パスワードリセットディスクが作成されました。

このディスクを作成するのは1回だけです。パスワードを変更するたびに作成し直す必要はありません。

● 使用方法

Windowsのログオンパスワードを設定すると、パソコンの電源を入れたときに、パスワード入力画面が表示されます。

① 何も入力せずに ボタンをクリックする

② 表示されたメッセージの［パスワードリセットディスクを使う］をクリックする
［パスワードのリセット ウィザード］画面が表示されます。

③ 表示されるメッセージに従って操作する
新しいパスワードが設定され、パスワード入力画面が表示されます。

④ 新しいパスワードを入力し、 ボタンをクリックする
パスワードが正しければ、Windows の起動画面が表示されます。

2 その他のパスワード

Windows ログオンパスワードのほか、次のパスワードが用意されています。
設定方法は、《サイバーサポート》を確認してください。

ユーザパスワード

パソコンの電源を入れたとき、または休止状態から復帰するときに使用します。
ユーザパスワードの設定は、「東芝 HW セットアップ」を使用することをおすすめします。

《サイバーサポート（検索）：ユーザパスワード》

スーパーバイザパスワード

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人が使用します。
スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、「東芝 HW セットアップ」を起動できないようにする、などの制限を加えることができます。
この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。
スーパーバイザパスワードの設定は、「スーパーバイザパスワードユーティリティ」で行います。

《サイバーサポート（検索）：スーパーバイザパスワード》

5章

パソコンと長くつきあうために

本章では、パソコンの手入れや持ち運ぶときの注意、お客様登録など、パソコンを使用する際に、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明しています。

1 パソコンの知っておきたいこと

パソコンと長くつきあうために、あらかじめ知っておいていただきたい内容を紹介します。
ここで紹介している以外にも、各マニュアル冊子をお読みになり、パソコンを正しくお使いください。

1 バックアップをとる

保存したファイルやフォルダを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをCD-R、CD-RWなど、ハードディスク以外の記憶メディア*1 にコピーしておくことをバックアップといいます。
大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。
本製品に添付されている「RecordNow!（レコードナウ）」を使って、次のメディアにバックアップをとることができます。

- DVDスーパーマルチドライブモデル：DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R、CD-RW、CD-R
- DVDマルチドライブモデル：DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-R
- DVD-ROM&CD-R/RWドライブモデル：CD-RW、CD-R

また、［マイ コンピュータ］で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーすると、次のメディアに書き込むことができます。*2

- DVDスーパーマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RW、CD-RW
- DVDマルチドライブモデル：DVD-RW、CD-RW
- DVD-ROM&CD-R/RWドライブモデル：CD-RW

＊1 バックアップをとることができるメディアは、モデルにより異なります。
＊2 CD-RW、DVD-RW、DVD+RWへの書き込みは、本製品に添付されている「DLA（ディーエルエー）」を使用してください。

参照 使用できるメディアについて『応用にチャレンジ 1章5 ドライブ』

参照 バックアップについて
『困ったときは 2章3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

2 周辺機器を購入するときは

パソコンには、プリンタやスキャナ、PC（ピーシー）カードなどの周辺機器を接続することができます。
周辺機器を接続することによって、より便利にパソコンを活用できます。
ただし、周辺機器はインタフェース（接続方式）が違うと接続できません。
購入するときは、マニュアルで本製品のインタフェースを確認のうえ、本製品で使用できるかどうかを周辺機器の取り扱い元や販売店で確認してください。

参照 周辺機器について『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

3 パソコンの手入れをする

パソコンはちりやホコリが苦手です。日常の手入れを行ってください。
パソコンは精密機械です。**故障や感電を防ぐために、CD／DVDなどを取り出してからパソコンや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、手入れを始めてください。**詳細については本書、『応用にチャレンジ』で本体の各部ごとの説明の最後に紹介しています。

4 パソコンに異常が起こったら

『安心してお使いいただくために』に、本製品を使用するときに守ってほしいことが記述されています。
あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
次のようなトラブルが生じた場合は、手順に従って修理に出してください。
故障した状態のままで使用しないでください。

- パソコンを使用中に煙が出た
- 異常な音がした
- 臭いがした
- 水がかかってしまった
- パソコンを落とした

【 修理に出すまで 】

1 すぐに電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜く

2 安全を確認して、バッテリパックをパソコン本体から取りはずす

参照 バッテリの取りはずしについて
『応用にチャレンジ 4章 1-❸ バッテリパックを交換する』

3 修理に出す

参照 修理の問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

5 あなたの健康のために

パソコンを長時間使うと、目や肩、首の疲れが気になります。
次のことに注意してください。

- 目を疲れさせないために、ディスプレイ（表示装置）が目の高さより低くなるように置いてください。
- キーボード（入力装置）は肘よりも下にくるよう、椅子の高さを調節してください。
- 前にかがんだり背もたれに寄りかからないよう、姿勢に注意してください。
  特に首や肩の疲れを防ぐため、背中を楽にして入力することが大切です。
  椅子の位置などを調節しておきましょう。
- 長時間、ディスプレイ（表示装置）を見続けないようにしてください。
  15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見るようにしましょう。

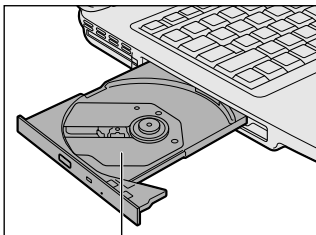
参照 詳細について『安心してお使いいただくために』

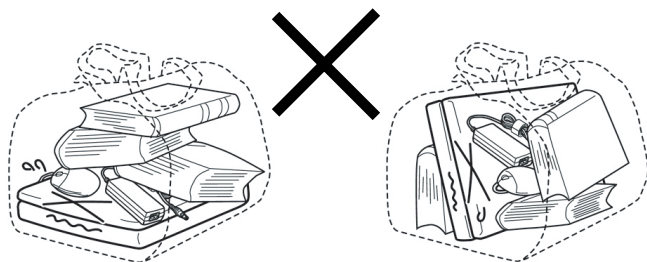
6 持ち運ぶときは

パソコンを持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを必ず守ってください。

- 電源を必ず切り、ACアダプタを取りはずしてください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。 電源を切ってACアダプタを取りはずした後に、すべてのLEDが消灯していることを確認してください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CD／DVDがセットされている場合は取り出してください。
- パソコンを持ち運ぶときは、不安定な持ちかたをしないでください。
- パソコンを持ち運ぶときは、突起部分を持って運ばないでください。

【例】

ディスクトレイ

ここを持たないでください。

- 各スロットにメディアなどがセットされている場合は取り出してください。
  セットしたまま持ち歩くと、カードが壁や床とぶつかり、故障するおそれがあります。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- ディスプレイを閉じてください。
- パソコンをカバンなどに入れて持ち運ぶときは、パソコン上面がＡＣアダプタやマウス、携帯電話、または、硬い本などの荷物で局所的に圧迫されるような入れ方をしないでください。
  液晶画面の一部にシミ状のムラが発生するなど、破損・故障の原因となり、修理が必要となる場合があります。

2 Windowsの知っておきたいこと

1 Windows XPの使いかた

Windows XPの使いかたについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]をクリックして、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。

Windows XPの最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows XPについて
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/
- Windows XPのアップデート
  URL：http://windowsupdate.microsoft.com/

Windowsの基本操作については、《できるdynabook》をご覧ください。

2 ユーザー補助について

画面を見る、音声を聞く、キーボードやマウスを操作するなどのパソコンでの作業が難しい場合、Windows XPでは[ユーザー補助の設定ウィザード]または[ユーザー補助のオプション]でユーザを補助します。

【 ユーザー補助の設定ウィザード 】

[ユーザー補助の設定ウィザード]では、ユーザー補助に関する質問が表示されます。質問の回答にあわせ、自動的にパソコンを設定します。

1. **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザー補助のオプション]をクリックする**
2. **[Windowsを構成して、ユーザーの視覚、聴覚、四肢の状態に合わせて使用する]をクリックする**

【 ユーザー補助のオプション 】

[ユーザー補助のオプション]では、直接設定することができます。

1. **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザー補助のオプション]をクリックする**
2. **[ユーザー補助のオプション]をクリックする**

詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]をクリックして『ヘルプとサポート センター』を起動し、「ヘルプトピックを選びます」の[ユーザー補助]をクリックして、説明をお読みください。

3 お客様登録をする

お客様登録とは、自分が製品の正規のユーザ（使用者）であることを製品の製造元に登録することです。ユーザ登録ともいいます。

1 東芝ID（TID）お客様登録のおすすめ

東芝では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために東芝ID（TID）のご登録をおすすめしております。
東芝ID（TID）は、複数の東芝デジタル商品で共通にご利用いただけるお客様専用IDです。東芝デジタル商品をご購入された方が対象で、インターネット経由でご登録いただけます。
TIDをご登録後は、はがきでのご登録は必要ありません。

【 東芝ID（TID）でご利用いただけるサービス 】

- お客様専用個人ページ「Room1048（ルームトウシバ）」をご利用いただけます。
- PCオンラインによるメールでの技術相談をお受けいたします。
- アンケートなどでご取得いただくポイントで、プレゼントの抽選にご応募いただけます。

詳しくは、次のアドレス「東芝ID（TID）とは？」をご覧ください。
https://room1048.jp/onetoone/info/about_tid.htm

お願い

- TID登録には、メールアドレスが必要です（携帯電話のメールアドレスはご遠慮ください）。
- 上記のサービス項目のうち、個人ページおよびポイント制度については、個人のお客様のみ対象となります。
- ご登録住所は、日本国内のみに限らせていただきます。
- この記載内容は2004年10月現在のものです。内容については、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 [東芝お客様登録]アイコンからのご登録方法

お客様の環境に応じて、TID登録を行う方法を選択できます。
ここでは、インターネットアクセス環境をお持ちでない場合に、本製品に添付のアプリケーション「いきなりインターネット」の無料体験機能を利用して、TID登録を行う方法を説明します。
接続時間に応じた電話使用料金が電話会社より請求されますので、あらかじめご了承ください。

お願い 操作にあたって

TID登録は、インターネットに接続して行います。あらかじめ、次のことを行ってください。

- コンピュータウイルスへの感染を防ぐために、ウイルスチェックソフトをインストールし、有効状態に設定しておいてください。

参照 「3章 ウイルスや不正アクセスを防ぐ」

- 電話回線のタイプ（パルス、またはトーン）を確認しておいてください。
- モジュラーケーブルを接続しておいてください。

参照 《できるdynabook》

メモ

「Norton Internet Security」をインストールしてあると、操作の途中で［プログラム制御］画面が表示される場合があります。
をクリックして表示された一覧から、［許可］または［常にすべてのポートでこのプログラムからの接続を許可する］を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

画面に表示されるメッセージは、場合によって異なります。
TID登録後は使用環境に応じて、許可／遮断の設定を変更してください。

参照 「3章2-❸ Norton Internet Security の設定」

（表示例）

「マカフィー・ウイルススキャン」／「マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス」やそれ以外の市販のウイルスチェックをお使いの場合は、異なる画面が表示される場合がありますので、ご注意ください。

1 デスクトップ上の［東芝お客様登録］アイコン（ ）をダブルクリックする

［「お客様登録」のお願い］画面が表示されます。

2 内容を読んで［お客様登録へ進む］ボタンをクリックする

3 内容を読んで［インターネットアクセス環境をお持ちでない方はこちらをクリック］をクリックする

本製品に添付のアプリケーション「いきなりインターネット」の無料体験機能を利用して、インターネットプロバイダ「infoPepper（インフォペッパー）」に接続し、東芝ID（TID）のホームページにアクセスします。

「いきなりインターネット」の無料体験機能を利用しない場合は、次のいずれかの方法を選択してください。

- **インターネットアクセス環境をお持ちの方**

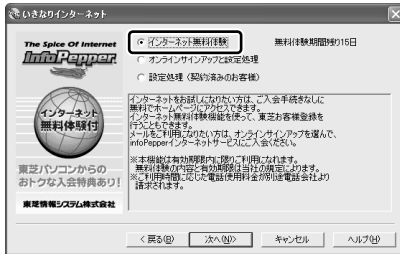
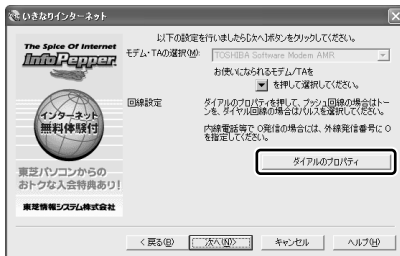
  ［インターネットアクセス環境をお持ちの方はこちらをクリック］をクリックしてください。
  インターネットに接続して、東芝ID（TID）のホームページにアクセスします。
  アクセス後は、「本項 2 インターネットからのご登録方法」の手順 2 をご覧のうえ、TID登録を行ってください。

- **インターネット経由での登録を希望しない方**

  画面右上の［閉じる］（ ☒ ）ボタンをクリックし、画面を閉じてください。
  同梱されているお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、投函してください。
  『お客様登録カード』で登録された方へは「仮パスワード」を発行いたします。東芝デジタル商品共通の東芝ID（TID）は、「仮パスワード」を使い、インターネットから別途ご登録が必要です。
  「本項 3 インターネットにすぐに接続されないお客様」をご覧ください。

「いきなりインターネット」が起動します。

4 ［次へ］ボタンをクリックする

5 ［インターネット無料体験］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

6 ［ダイアルのプロパティ］ボタンをクリックする

［電話とモデムのオプション］画面が表示されます。

7 ［編集］ボタンをクリックする

［所在地の編集］画面が表示されます。

8 ［全般］タブで、［ダイヤル情報］と［ダイヤル方法］を設定し、［OK］ボタンをクリックする

お使いの電話回線のタイプに合わせて［トーン］または［パルス］を選択してください。
タイプがわからないときは、受話器を持ち上げてダイヤルしたときに「ピポパ」という発信音の場合は［トーン］、「カチカチカチ」という発信音の場合は［パルス］を選択してください。

「外線発信番号」は、外線発信するために、電話番号の前に特定の数字を入力する必要がある場合のみ設定してください。一般家庭では設定の必要はありません。

9 ［電話とモデムのオプション］画面の［OK］ボタンをクリックする

10 ［次へ］ボタンをクリックする

11 ［次へ］ボタンをクリックする

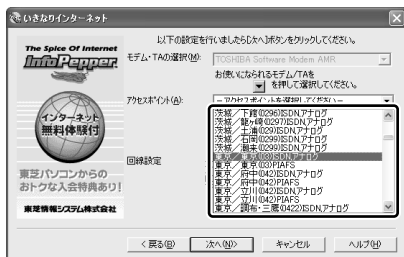
インターネットへの接続を開始します。
「infoPepper」のサーバに接続し、アクセスポイント一覧を自動的に取得します。
取得を完了すると、自動的に接続が切断されます。

5章 パソコンと長くつきあうために

つづく ▶

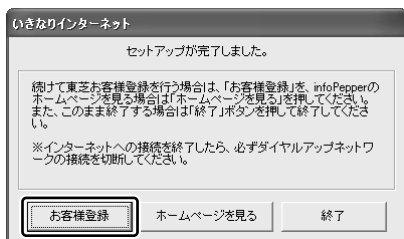
12 [アクセスポイント] の ▼ をクリックして表示された一覧から、アクセスポイントを選択する

お住まいの場所に最も近い地名／市外局番のアクセスポイントを選択してください。

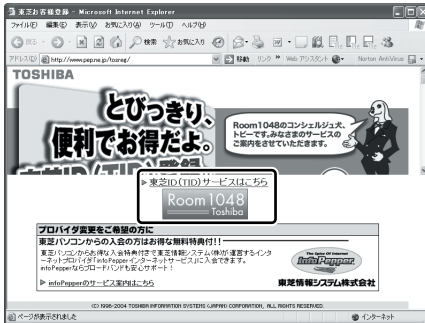
画面は、[東京／東京（03）ISDN, アナログ] を選択した場合の表示例です。

13 [次へ] ボタンをクリックする

14 [完了] ボタンをクリックする

[セットアップが完了しました。] 画面が表示されます。

15 [お客様登録] ボタンをクリックする

インターネットへの接続を開始します。

Internet Explorer が起動し、[東芝お客様登録] 画面が表示されます。

16 [東芝 ID（TID）サービスはこちら］をクリックする

東芝 ID（TID）のホームページに自動的にアクセスします。

17 [新規及び追加で商品のご登録をされるお客様］欄で今回お買い上げの商品「パソコン」を選択する

18 初めて TID をご登録される場合は、[新規登録］ボタンをクリックする

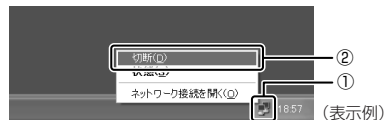
画面のご案内に従ってご登録いただきますと、TID を発行いたします。
すでに他商品で TID を取得された方は、TID、パスワードを入力し、[追加登録］ボタンをクリックしてください。商品の追加登録を行っていただくことができます。

役立つ操作集

インターネットへの接続を終了するには

TID 登録を完了した後は、インターネットへの接続を終了してください。

①通知領域の［接続］アイコン（ ）を右クリックする
②表示されたメニューから［切断］をクリックする
　接続が終了すると通知領域の［接続］アイコン（ ）が消えます。

切断(D)
ネットワーク接続を開く(O)
18:57
（表示例）

[スタート］→［接続］→［infoPepper XX（接続先)］をクリックし、[infoPepper XX（接続先）の状態］画面で［切断］ボタンをクリックして、切断することもできます。

2 インターネットからのご登録方法

画面のご案内に従ってご登録ください。
すぐにTIDをご取得、ご利用いただけます。

1 「http://room1048.jp/」にアクセスする

2 ［新規及び追加で商品のご登録をされるお客様］欄で今回お買い上げの商品「パソコン」を選択する

画面のご案内に従ってください。

- **初めてTIDをご登録される方**
  ［新規登録］ボタンをクリックしてください。
  画面のご案内に従ってご登録いただきますと、TIDを発行いたします。
- **すでに他商品でTIDを取得された方**
  TID、パスワードを入力し、［追加登録］ボタンをクリックしてください。
  商品の追加登録を行っていただくことができます。

3 インターネットにすぐに接続されないお客様

同梱の『お客様登録カード』（はがき）に必要事項をご記入のうえ、ご送付ください。
東芝TID事務局より、「お客様登録番号」とTID登録用の「仮パスワード」をはがきにて通知いたします。はがき通知後、インターネットからTIDをご登録ください。
TIDはインターネットからのご登録受付になります。

- **初めてTIDをご登録される方**
  インターネットに接続されたときに、「http://room1048.jp/tid/」にアクセスし、「お客様登録番号」と「仮パスワード」を入力し、TID登録を行ってください。
- **すでに他商品でTIDを取得された方**
  インターネットに接続されたときに、「http://room1048.jp/」にアクセスし、「Room1048」にログインした後、［登録情報変更］→［はがきを受け取られたお客様］を選択してください。

お願い

- TID登録時点でお客様登録番号は無効となります。TIDでのサービス･サポートをご利用ください。
- TIDをご登録にならない場合は、お問い合わせなどの際にお客様登録番号が必要になることがありますので、はがきをお手元に保管してください。

2 その他のユーザ登録

1 Windows XPのユーザ登録

登録すると、マイクロソフト社よりマイクロソフト社製品に関する製品情報やイベント情報などを得ることができます。
登録は、インターネットで行います。インターネットに接続してから（《できるdynabook》参照）、次の手順で行ってください。

1 ［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックする

［ヘルプとサポート センター］画面が表示されます。

2 左画面の［Windows XP の新機能］をクリックする

3 左画面の［ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録］をクリックする

4 右画面の［オンライン ユーザー登録を使用する］をクリックする

5 右画面の説明文中の［ユーザー登録ウィザード］をクリックする

［Microsoft Windows XP ユーザー登録ウィザード］が起動します。

6 表示される画面に従って登録を行う

ユーザー ID を持っていない場合は、所有者情報を入力する画面の［マイクロソフト オフィシャルユーザー ID］欄に「WindowsXP」と入力してください。

2 その他のアプリケーションのユーザ登録

パソコンに用意されている他のアプリケーションのユーザ登録については、同梱の『ユーザ登録用紙』または各アプリケーションのヘルプを確認してください。
また、各アプリケーションの問い合わせ先については、『図解で読むマニュアル OS／アプリケーションの問い合わせ先』を確認してください。

付録

1 知りたいことを簡単検索！

dynabookのマニュアルは、冊子の『安心してお使いいただくために』『さあ始めよう』『応用にチャレンジ』『困ったときは』『図解で読むマニュアル』『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』などと、パソコン本体に内蔵され、画面で確認するマニュアル《できるdynabook》《サイバーサポート》とがあり、テーマごとに分類されています。
ここでは、お客様の「やりたいこと」から、どのマニュアルに該当する記載があるかをガイドします。知りたい内容がどこにあるかわからないときに、ご活用ください。

記載方法についてのご説明

【 冊子のマニュアル 】

（例）データCDを作りたい 「RecordNow!」.......................... 『困ったときは』40

やりたいこと　アプリケーション名　参照マニュアル・ページ数

【 パソコンの画面上で見るマニュアル 】

● 《できるdynabook》

（例）Windowsの基本操作を知りたい........................《できるdynabook》第1章

参照する章

①《できるdynabook》を起動後、［目次］アイコン（ ）をクリックする
② 表示された目次から、章タイトルをクリックする

章の内容が表示されます。
見たいタイトルをクリックしてください。

《できるdynabook》の使いかたは、『図解で読むマニュアル』P.54をご覧ください。

● 《サイバーサポート》

（例）ホームページを翻訳したい「The 翻訳インターネット」....《サイバーサポート》
　　　　やりたいこと

①《サイバーサポート》を起動後、［検索］ボタン（ 検索 ）をクリックする

② やりたいことを入力して、［検索］ボタン（ 検索 ）をクリックする

［検索対象］は［パソコンマニュアル］を選択してください。

検索結果が表示されます。見たい項目をクリックしてください。

《サイバーサポート》の使いかたは、『図解で読むマニュアル』P.50 をご覧ください。

パソコンの基本操作を知りたい

インターネットを楽しみたい

メールを使いたい

ネットワークに接続したい

音楽を楽しみたい

映像を楽しみたい

映像を編集したい／残したい

デジタルカメラを活用したい

CD／DVDを作りたい

文書／表を作りたい

便利なソフトを知りたい

自分好みのパソコンに設定したい

パソコンのいろいろな設定を知りたい

パソコンを守りたい

本体の機能を知りたい

周辺機器を接続したい

バッテリ駆動で使いたい

再セットアップをしたい

パソコンの操作がわからないときは

こんなときは

2 用語集

本書で使われている用語について説明しています。本書を読み進めるために活用してください。

記号・アルファベット

（メール）アドレス

メールをやりとりするための「宛名」のことで、手紙の「住所・氏名」にあたるものです。

CD（CD-R、CD-RW、CD-ROM）

コンパクトディスク（Compact Disc）の略で、動画、音声、データなどをデジタル記録できる規格です。CD-R（Recordable）は 1 回のみ書き込み、CD-RW（Rewritable）は 1 度書き込んだものを削除して、書き換えたりできます。CD-ROM は、パソコンのデータなどが収録されているもので、データを読み出すのみです。

DVD（DVD-R、DVD+R、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、DVD-ROM）

デジタル多用途ディスク（Digital Versatile Disc）の略で、動画、音声、データなどをデジタル記録できる規格です。CD よりも記録できる容量が多いので、映画、音楽、ゲームなどが収録できます。DVD-R や DVD+R（Recordable）は 1 回のみ書き込み、DVD-RW や DVD+RW（Rewritable）は 1 度書き込んだものを削除して、書き換えたりできます。DVD-ROM はパソコンのデータなどが収録されているもので、データを読み出すのみです。DVD-RAM は、読み出し／書き込みの両方ができます。

LED（Light Emitting Diode）

電源やバッテリなどに関するランプ表示のことで、色や点灯状態を見て、パソコン本体の状態を確認できます。

OS（オペレーティングシステム）

パソコンを動かしている基本ソフトのことです。パソコン用では、代表的なものに Windows、Mac OS（マッキントッシュ）、Linux などがあります。

Windows

マイクロソフト社製のパソコン用基本ソフト（OS）のことです。

Windows Update

インターネットに接続して、マイクロソフト社が提供する専用ホームページから Windows 機能を強化するための各種プログラムをダウンロードできる機能です。定期的に更新することをおすすめします。

あ行

アイコン

ソフトやファイル、フォルダなどの作業内容を絵で表したものです。

アカウント

パソコンやネットワークなどに接続する際に必要なID（識別番号）のことで、本来は「取り引き」や「権利」という意味があり、「アカウントを持っている」というと、インターネットなどにつながるための権利があるということになります。ユーザIDまたはIDともいいます。

「本節 ユーザアカウント」

アクセス

インターネットなどのネットワークに接続したり、フロッピーディスクやハードディスクのデータを読み書きしたりすることです。

アクティブ

現在使用中、使用可能、動作中などを意味します。例えば、操作の対象となっている画面のことを「アクティブウィンドウ」といったりします。

アップグレード

ソフトをより新しいバージョンへ切り替えることです。「バージョンアップ」ともいいます。

アップデート

ソフトやデータを新しいものに置き換える作業のことです。操作上の不具合を解消するための修正や、小さなプログラムのミス（バグ）の解消も含みます。

アプリケーション（アプリケーションソフト）

コンピュータを動かしたり、コンピュータで作業したりするためのプログラムのことです。ワープロや表計算などの特定の目的に使うソフトウェアの総称です。

アンインストール

パソコンに組み込んだ（インストールした）ソフトを削除することです。

「本節 インストール」

インストール

フロッピーディスクやCD-ROMなどからソフトをパソコンに組み込んで設定することです。

「本節 アンインストール」

インターネット

世界中のコンピュータをネットワークでつないだ世界規模のコンピュータ通信網のことです。インターネットに接続することで、ホームページを見たり、電子メールを使ったりできます。

インタフェース

コンピュータと周辺機器を接続して、データのやり取りを行うための方式（接続方式）のことをいいます。

ウィザード

画面の案内にしたがって「はい」「いいえ」など、項目を選択するだけで複雑な設定が比較的簡単にできる機能のことです。

ウイルス（コンピュータウイルス）

コンピュータに悪影響を及ぼすことを目的として作られたプログラムのことです。メールの中に潜んで送られることが多く、パソコンに侵入する（感染する）とプログラムを勝手に書き換えたり、データを破壊したりします。

ウィンドウ

フォルダやソフトウェアを起動したりすると開く枠（画面）のことです。

うわが
上書き（保存）

以前作成したデータファイルに修正／追加などの編集作業をした後、同じファイル名で保存することです。上書きすると、編集前の内容は消え、編集後の内容に置き換えられます。

か行

カーソル

画面上で文字入力できる位置を示すマークのことです。入力したい位置にポインタを移動してクリックすると、ポインタがカーソルに変わり、入力できるようになります。

参照 P.17、「本節 ポインタ」

かくちょうし
拡張子

ファイル名の後に「.」（ピリオド）で区切って付けられる英数字のことで、ファイルの種類を表します。例えば、プログラムファイルの場合は「exe」、テキストファイルの場合は「txt」になります。

参照「本節 ファイル」

付録

起動（きどう）

パソコンの電源を入れて使える状態にすること、またはソフトウェアを呼び出して使える状態にすることで、「立ち上げ」「ブート」ともいいます。

参照 「本節 再起動」

クリック

画面上のポインタを目的の位置にあわせて、マウスやタッチパッドなどのボタンを１回押してすぐ離す操作のことです。

参照 P.15、「本節 ダブルクリック」

コネクタ

パソコン本体や周辺機器にあるケーブルの差し込み口のことで、「ポート」ともいいます。

コンピュータウイルス

参照 「本節 ウイルス」

さ行

再起動（さいきどう）

すでに電源の入っているパソコンやソフトをいったん終了して、すぐに再び立ち上げる（起動する）操作のことです。新しいソフトをパソコンにインストールしたときなど、設定を変更した後に設定を有効にするには、この操作をする場合があります。

参照 P.26、「本節 起動」

最小化（さいしょうか）

開いている画面（ウィンドウ）をタスクバーの中に収容することです。

最大化（さいだいか）

開いている画面（ウィンドウ）をディスプレイいっぱいに表示させることです。

周辺機器（しゅうへんきき）

パソコン本体以外の機器のことで、パソコンに接続して使います。プリンタ、マウス、外付けハードディスクなどがあります。

ショートカット

使用頻度の高いソフトやファイルのアイコンのコピーを作成し、すぐ使えるようにする機能です。

スクロール

長い文章や大きな表などの場合、画面に表示しきれず、隠れている部分を画面に表示する操作のことです。

P.37

スタンバイ

現在の状態を保ったままパソコンを一時休止する機能のことです。通常の「終了・再起動」よりも短時間で同じ状態を再現できます。

P.26

セキュリティ

コンピュータウイルスやインターネット上の誰かが自分のパソコンに侵入するのを防ぐことです。

セットアップ

パソコンに新しい機器やソフトを組み込んで、使用できる状態にすることです。

外付け（そとづけ）

パソコン本体の外に接続して使う機器のことで、フロッピーディスクドライブや外付けハードディスクなどがあります。

「本節 周辺機器」

ソフトウェア（ソフト）

「本節 アプリケーション」

た行

ダウンロード

インターネットを使って、別のコンピュータからプログラムやファイルなどのデータを自分のパソコンに送る（転送する）操作です。

タッチパッド

パッドの上を指などでなぞってポインタを動かし、パソコンを操作するパッドのことです。

P.35

タブ

ワープロソフトなどの文書作成ソフトであらかじめ設定しておいた位置にカーソルをワンタッチで移動する機能です。
また、設定画面など、複数の画面が重なっている画面の見出し部分のことをさします。目的のタブをクリックすると、クリックしたタブの画面が1番手前に表示されます。

ダブルクリック

画面上のポインタを目的の位置にあわせて、マウスやタッチパッドなどのボタンを2回続けて素早く押す（クリックする）操作のことです。

参照 P.36、「本節 クリック」

データ

文字、画像、音、映像などのパソコンで使用する情報の総称です。

デスクトップ

Windows（ウィンドウズ）を立ち上げて最初にでる基本画面のことです。

デバイス

一般的には、フロッピーディスクドライブ、プリンタなどの周辺機器のことです。
パソコン内部の電子部品をさす場合もあります。

電子（でんし）メール

ネットワークを利用して特定の相手と文書をやり取りする機能のことです。単に「メール」と呼ぶこともあります。電子メールにデータを添付して、画像やソフトなどを送ることもできます。

ドライバ

パソコンに接続されている周辺機器などを使うために必要なソフトのことで、「デバイスドライバ」ともいいます。プリンタを接続したときに読み込むプリンタドライバなどがあります。

ドラッグアンドドロップ

対象にポインタを合わせてタッチパッドやマウスのボタンを押し、押したままポインタを目的の場所まで移動し、ボタンを離すことです。ファイルの保存場所を移動させる場合に使うと、簡単に移動ができ便利です。

参照 P.37

な行

内蔵（ないぞう）

パソコン本体の内部に取り付けられていることをさします。

参照 「本節 外付け」

ネットワーク

インターネットや LAN（ラン）など、複数のパソコンを繋ぐ通信網のことです。

は行

バージョン

アプリケーションを改良した回数を表します。一般的には、版の数字が大きいほど新しいものになります。

ハードウェア

ソフトウェアに対して、パソコン本体や周辺機器など、形のあるものをさします。

ハードディスク（ドライブ）

HD、HDD とも表記されます。アプリケーションや文書、画像などのファイルを保存しておく装置のことです。パソコン本体内部に取り付けられている内蔵型と、i.LINK（アイ リンク）（IEEE1394（アイトリプルイーイチサンキュウヨン））コネクタや USB（ユーエスビー）コネクタなどに接続して使う外付け型があります。

パスワード

本人であることを確認するための暗証番号のことです。本人しか知らない文字と数字の組み合わせを使用します。

バックアップ

ファイルやフォルダを誤って削除してしまったり、トラブルで消失してしまった場合に備えて、保存している記憶装置（ハードディスクなど）とは別に、他の記憶装置または記憶メディア（フロッピーディスクや CD-RW、DVD-RAM など。使用できるメディアはモデルにより異なります）にもあらかじめコピーしておくことです。

参照 P.78

ファイアウォール

本来は「防火壁」の意味で、パソコンをインターネットに接続する場合に、外部から不正侵入されないための防御システムのことです。

付録

ファイル

パソコンで扱う情報を分類してまとめたものの単位のことです。文書、画像、音楽、プログラムなどは、それぞれファイルとしてパソコンに保存します。

フォーマット

フロッピーディスクやSDカードなどをパソコンで使えるように準備することです。一度使用したものを再フォーマットすると、その中に保存されていた情報はすべて消去されます。

または、表計算やワープロソフトの書式のことや、データの記録方式や保存されたファイルの形式をさします。

フォルダ

ファイルを保管しておく入れもののことです。フォルダには自分で名前を付けることができます。また、フォルダの中にフォルダを作成することもできます。

プレインストール

あらかじめソフトが組み込まれていることです。自分でインストールする必要がありません。

プログラム

パソコンを動かすための命令のことです。ソフトウェアとほぼ同じ意味で使われる場合もあります。

プロバイダ

インターネット・サービス・プロバイダ（ISP〔アイ・エス・ピー〕）のことです。インターネットの接続の窓口となる会社のことです。

プロパティ

「性質」「特性」の意味の言葉で、指定されたものの特性をあらわす表示のことです。例えば、「ファイルのプロパティ」には、ファイルの大きさ、作られた日時、作成者などの情報が収められています。

ヘルプ（オンラインヘルプ）

パソコンの画面上で見ることができる説明書のことです。一般的に、操作方法や困ったときの解決方法などが掲載されています。

ポインタ

パソコンの画面上に表示される のことで、タッチパッドやマウスの操作に合わせて動きます。画面上の一点を指示するための目印です。

参照 P.15、35、44

ま行

マウス

パソコンを操作するために使う周辺機器のことです。形がネズミに似ているためこう呼ばれています。

右クリック

タッチパッドまたはマウスの右ボタンを押すことです。

参照 P.37

メディア

フロッピーディスクや SD カード、CD-R など、「データを書き込むもの」をさします。

モデム

一般の電話回線（アナログ回線）でインターネットに接続するときに必要な機器で、パソコンのデータ（デジタル信号）を電話回線で送れるようにアナログ信号に変換したり、送られてきたデータをデジタル信号に戻したりします。外付け型、内蔵型、PC カード型などの種類があります。

や行

ユーザアカウント

パソコンを使用する人の名前のことです。ユーザアカウントを個別に登録することで、個人ごとの環境を設定することができ、1 台のパソコンを複数の人で使い分けるときに便利です。

ら行

ライセンス

Windows（ウィンドウズ）などのシステムや、ソフトウェアを使用する権利のことです。

ログオフ／ログアウト

Windows（ウィンドウズ）の使用を終了することです。
または、ネットワークとの接続を終了することをさす場合もあります。

参照 「本節 ログオン／ログイン」

付録

ログオン／ログイン

Windows（ウィンドウズ）の使用を開始することです。

または、ネットワークに接続することをさす場合もあります。

参照 「本節 ログオフ／ログアウト」